

5. 超高齢社会に関する市民意識調査の結果について



加賀市健康福祉部長寿課

平成 29 年 5 月 18 日

平成 28 年度

加賀市

超高齢社会に関する市民意識調査

結果報告書

目 次

第 1 章 調査の概要	1
第 2 章 調査結果 ～市全体～	2
① 回答者の属性.....	2
② 地域活動や健康維持について.....	6
③ 認知症について.....	16
④ 医療（療養）について.....	19
⑤ 住まいと暮らしについて.....	23
⑥ 介護保険制度や高齢者福祉について.....	26
第 3 章 調査結果 ～日常生活圏域別～	30
① 回答者の属性.....	31
② 地域活動や健康維持について.....	33
③ 認知症について.....	41
④ 医療（療養）について.....	44
⑤ 住まいと暮らしについて.....	49
⑥ 介護保険制度や高齢者福祉について.....	51
第 4 章 資料編 ～調査票～	55

第 1 章 調査の概要

■ 調査の趣旨

高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、各地域で地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが推進されており、要介護状態になる前の高齢者に対する効果的な介護予防のための取り組み、つまり新しい介護予防・日常生活支援総合事業（以下、新総合事業）はこの取り組みの 1 つとして重視されています。また、新総合事業において、住民主体の活動を多様な主体の参画による多様なサービスを充実することを通じて支援し、地域の実情に応じた地域の支え合いの体制づくりを推進することにより、要支援者等に対する多様なニーズに応じていくことが求められています。

これらの一環として、本調査を実施し調査結果から、新しい総合事業の進捗管理や事業評価のために必要な地域診断を行う上での基礎資料とします。

■ 調査の概要

- 調査対象 ; 要支援・要介護認定を受けていない 60 歳以上（平成 28 年 12 月 15 日現在）の住民 5000 人
調査期間 ; 平成 29 年 1 月 23 日から平成 29 年 3 月 10 日
調査方法 ; 郵送配布・郵送回収
回答数 ; 2,930 件（回収率 58.6%）

■ 電算処理について

- ・集計結果は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも 100.0%にならない場合があります。また、複数回答設問の回答比率の合計値は 100.0%を超える場合があるため、図表に表記していません。
- ・集計上の表・グラフでは、集計母数（当該設問に回答すべき有効回答者数）を表記していますが、分岐設問でない単数回答に関しては、母数の表記を省略しています。
- ・本調査では複数回答設問において、3 つまでなど、回答選択できる数を制約している設問を設けていますが、集計上は回答数の制約を超えた場合も全て有効回答とみなして処理しています。
- ・問 11 と問 23 順位付けした回答の集計については、「1 番」「2 番」「3 番」それぞれの回答数、割合の他、順位を点数化し、「1 番」を 3 点、「2 番」を 2 点、「3 番」を 1 点としたときの各項目の総得点を集計しています。また、圏域別集計においては、「1 番」「2 番」「3 番」それぞれの回答数を各圏域の回答母数で除し、順位で上記点数に準じた重みづけをした指標を用いています。

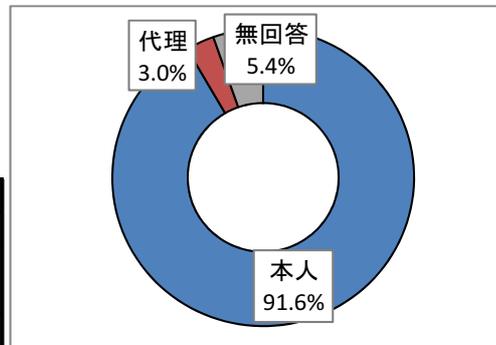
第2章 調査結果 ～市全体～

① 回答者の属性

回答者の性別、年齢層、居住地区および回答者の世帯構成は以下の通りでした。

問1-1 回答の記入者

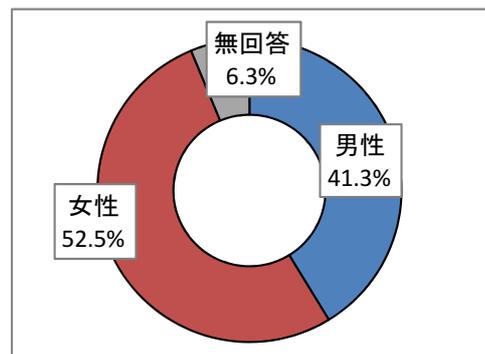
	回答数	割合
本人	2,684	91.6%
代理	89	3.0%
無回答	157	5.4%
全体	2,930	100.0%



回答の記入者については「本人」が91.6%に対し、「代理」は3.0%となっています。

問1-2 回答者の性別

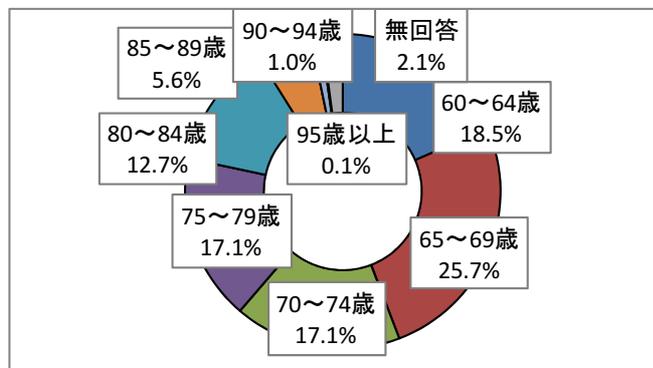
	回答数	割合
男性	1,209	41.3%
女性	1,537	52.5%
無回答	184	6.3%
全体	2,930	100.0%



回答者の性別内訳は「男性」41.3%に対し、「女性」52.5%と女性の占める割合が高くなっています。

問1-3 回答者の年齢

	回答数	割合
60～64歳	542	18.5%
65～69歳	752	25.7%
70～74歳	502	17.1%
75～79歳	500	17.1%
80～84歳	373	12.7%
85～89歳	165	5.6%
90～94歳	30	1.0%
95歳以上	4	0.1%
無回答	62	2.1%
全体	2,930	100.0%

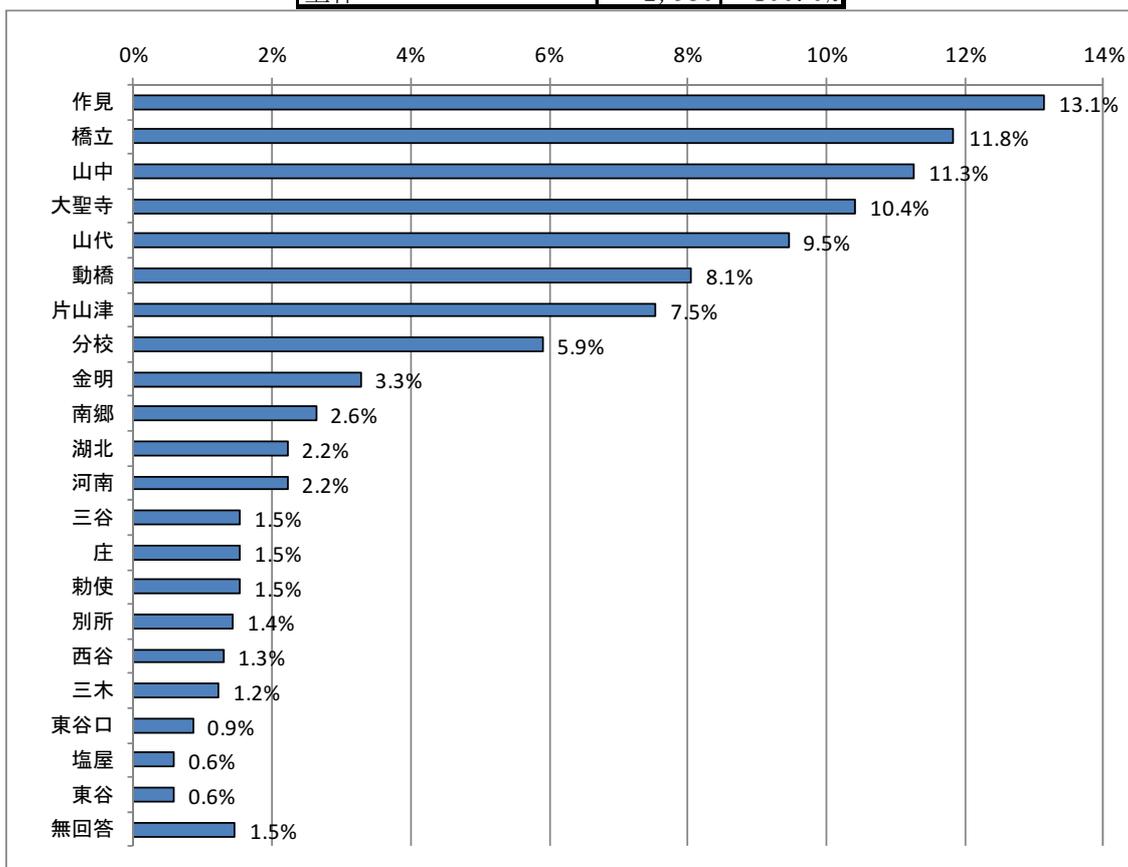


回答者の年齢内訳は、「65～69歳」が25.7%で最も高く、次いで「60～64歳」が18.5%となっており、60歳代の占める割合は44.2%と半数近くを占めています。その他、70歳代が34.2%、80歳以上が19.3%となっています。

問1-4 回答者の居住地区 <複数回答>

有効回答数 N=2,930

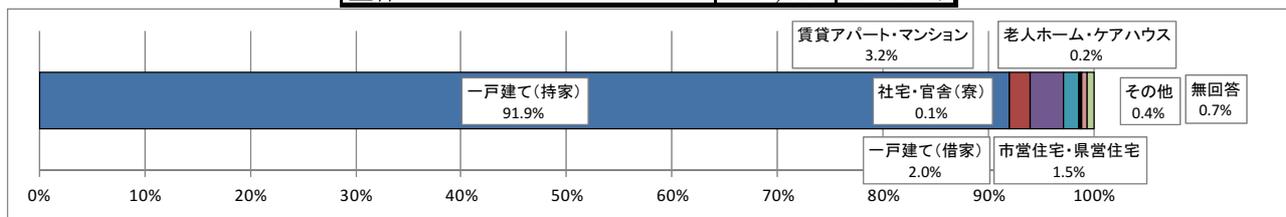
	回答数	割合
大聖寺	305	10.4%
三木	36	1.2%
三谷	45	1.5%
南郷	77	2.6%
塩屋	17	0.6%
山代	277	9.5%
庄	45	1.5%
勅使	45	1.5%
東谷口	25	0.9%
別所	42	1.4%
片山津	221	7.5%
金明	96	3.3%
湖北	65	2.2%
橋立	347	11.8%
動橋	236	8.1%
分校	173	5.9%
作見	385	13.1%
山中	330	11.3%
河南	65	2.2%
西谷	38	1.3%
東谷	17	0.6%
無回答	43	1.5%
全体	2,930	100.0%



回答者の居住地区内訳は、「作見」が13.1%で最も高く、「橋立」11.8%、「山中」11.3%、「大聖寺」10.4%と続いています。

問1-5 回答者の居住形態

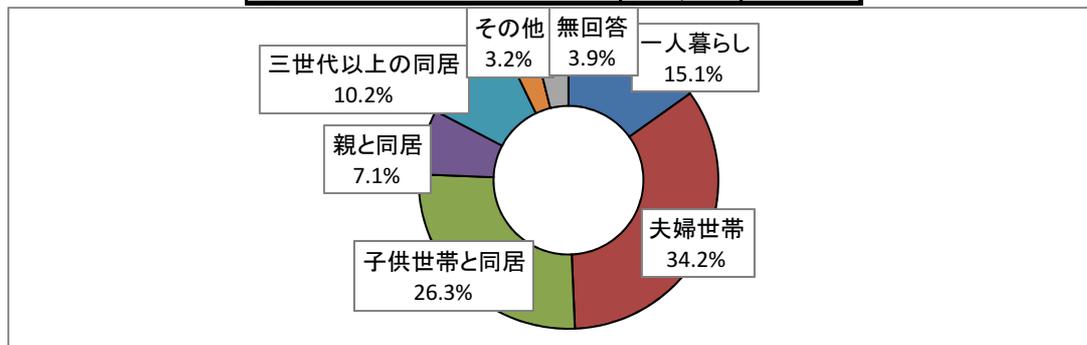
	回答数	割合
一戸建て（持家）	2,694	91.9%
一戸建て（借家）	58	2.0%
分譲マンション	0	0.0%
賃貸アパート・マンション	93	3.2%
市営住宅・県営住宅	44	1.5%
社宅・官舎（寮）	3	0.1%
老人ホーム・ケアハウス	5	0.2%
その他	12	0.4%
無回答	21	0.7%
全体	2,930	100.0%



居住形態についてみると、「一戸建て（持家）」が91.9%で大多数を占め、「賃貸アパート・マンション」が3.2%と続いています。

問1-6 回答者の世帯構成

	回答数	割合
一人暮らし	442	15.1%
夫婦世帯	1,003	34.2%
子供世帯と同居	771	26.3%
親と同居	207	7.1%
三世代以上の同居	298	10.2%
その他	95	3.2%
無回答	114	3.9%
全体	2,930	100.0%

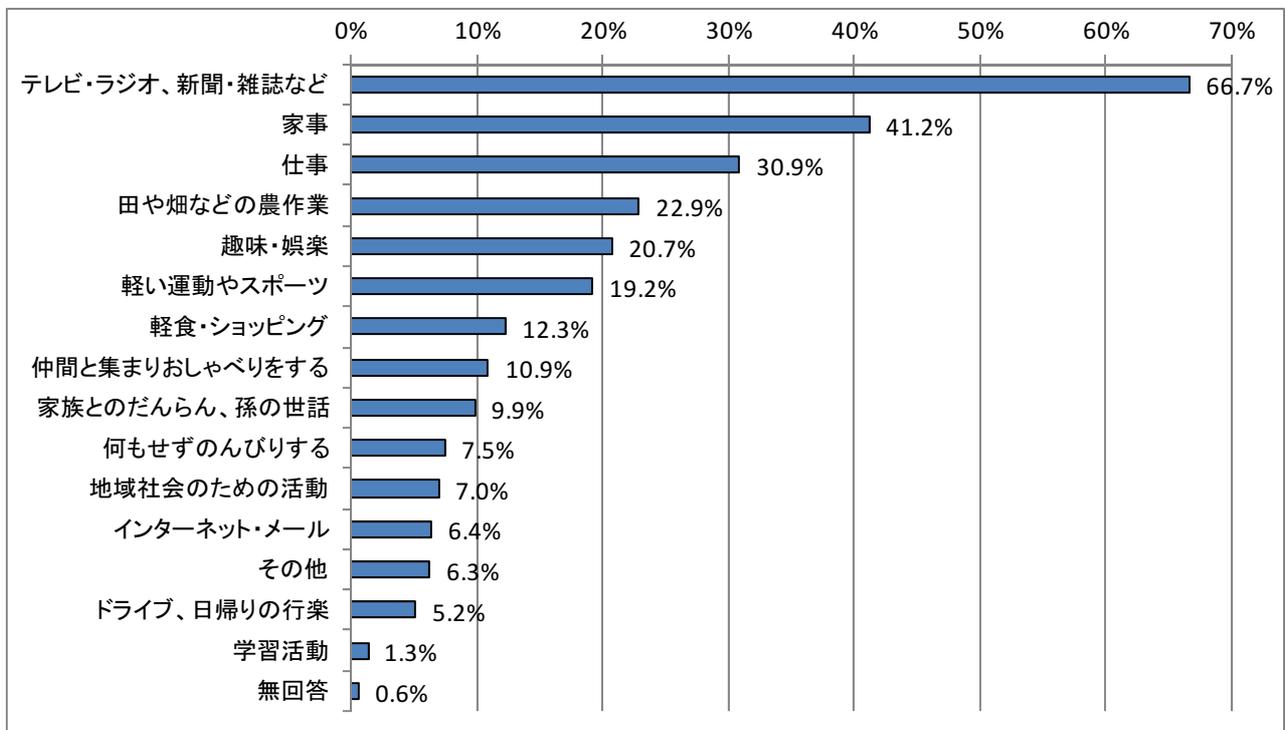


回答者の世帯構成内訳をみると、「夫婦世帯」が34.2%で最も高く、次いで「子供世帯と同居」が26.3%、「一人暮らし」が15.1%となっています。

問1-7 普段の日常生活活動 <複数回答>

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
テレビ・ラジオ、新聞・雑誌など	1,953	66.7%
インターネット・メール	188	6.4%
家族とのだんらん、孫の世話	289	9.9%
趣味・娯楽	607	20.7%
仲間と集まりおしゃべりをする	320	10.9%
軽い運動やスポーツ	562	19.2%
軽食・ショッピング	359	12.3%
ドライブ、日帰りの行楽	151	5.2%
地域社会のための活動	205	7.0%
学習活動	39	1.3%
家事	1,207	41.2%
仕事	905	30.9%
田や畑などの農作業	671	22.9%
何もせずのんびりする	219	7.5%
その他	184	6.3%
無回答	18	0.6%

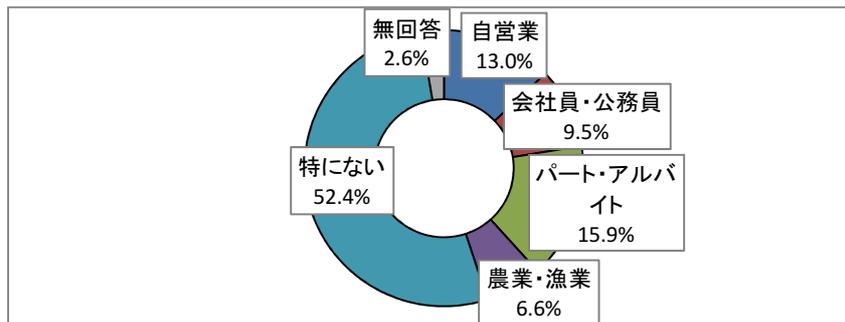


普段の日常生活における活動についてみると、「テレビ・ラジオ、新聞、雑誌など」が66.7%で最も高く、「家事」が41.2%、「仕事」が30.9%、「農作業」が22.9%と続いており、仕事や仕事に勤しむ人の割合が多いことがうかがえます。余暇活動としては、「趣味・娯楽」が20.7%、「軽い運動やスポーツ」が19.2%となっています。

② 地域活動や健康維持について

問 2-1 現在の職業

	回答数	割合
自営業	380	13.0%
会社員・公務員	277	9.5%
パート・アルバイト	466	15.9%
農業・漁業	194	6.6%
特にない	1,536	52.4%
無回答	77	2.6%
全体	2,930	100.0%

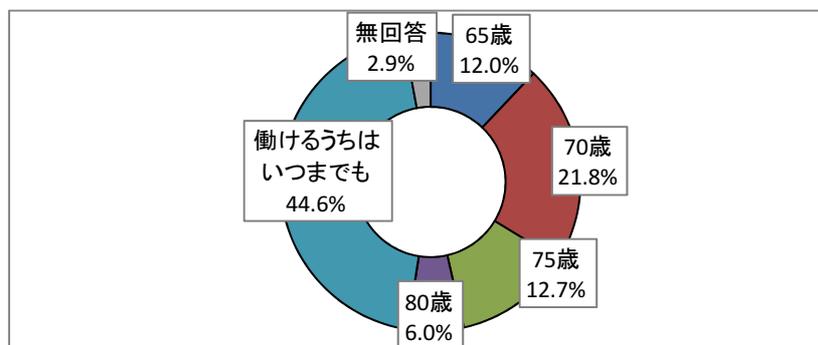


現在の職業について、「特にない」と回答した者が 52.4%で半数程度となっている一方、労働者としては、「自営業」が 13.0%、パート・アルバイトが 15.9%と、「農業・漁業」が 6.6%となっています。

問 2-2 仕事の継続意向（何歳まで仕事をしたいか）

有効回答数 N=1,317

	回答数	割合
65歳	158	12.0%
70歳	287	21.8%
75歳	167	12.7%
80歳	79	6.0%
働けるうちはいつまでも	588	44.6%
無回答	38	2.9%
全体	1,317	100.0%

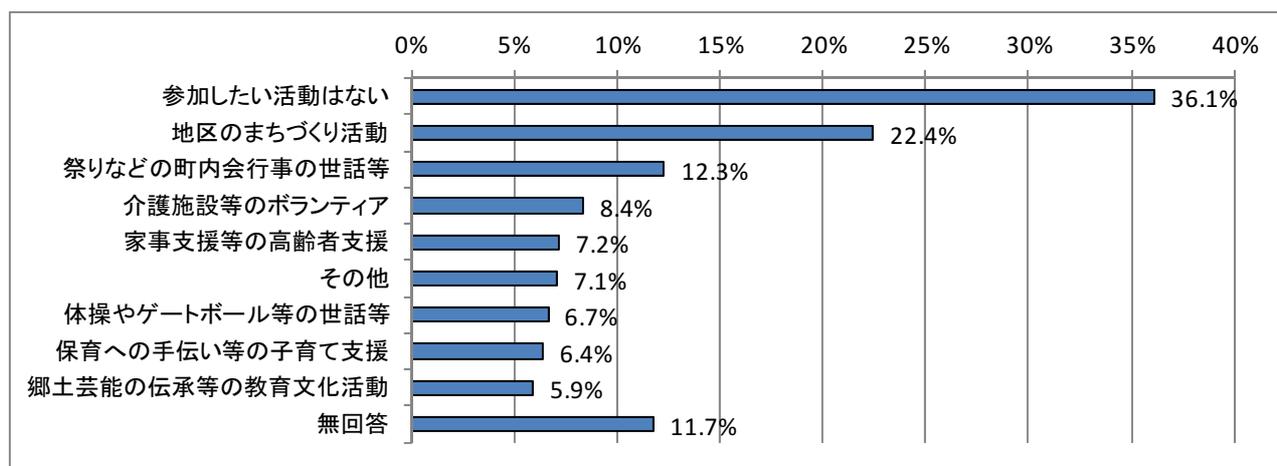


現在の職業において「特にない」、「無回答」を除く労働者 1,317 名のうち、仕事の継続意向について「働けるうちはいつまでも」と回答した者が 44.6%と半数近くを占めています。次いで「70歳」が 21.8%、「75歳」が 12.7%、「65歳」が 12.0%となっており、定年退職年齢後も仕事を継続する意向があるものが多いことがうかがえます。

問3-1 地域活動の参加意向 <複数回答>

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
家事支援等の高齢者支援	211	7.2%
保育への手伝い等の子育て支援	188	6.4%
祭りなどの町内会行事の世話等	360	12.3%
地区のまちづくり活動	657	22.4%
体操やゲートボール等の世話等	195	6.7%
郷土芸能の伝承等の教育文化活動	174	5.9%
介護施設等のボランティア	245	8.4%
その他	208	7.1%
参加したい活動はない	1,057	36.1%
無回答	344	11.7%

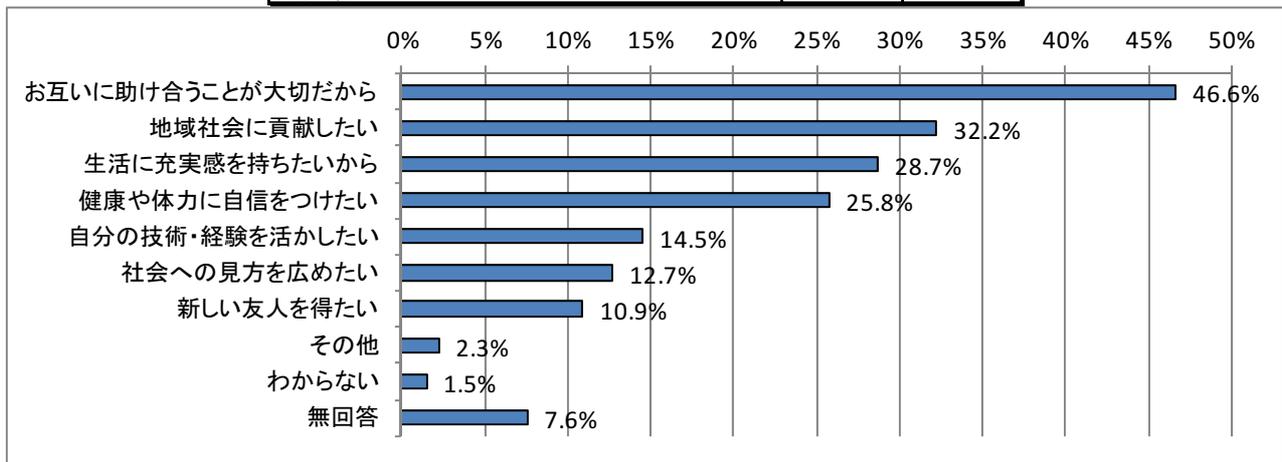


地域活動の参加意向について、「参加したい活動はない」と回答した者が 36.1%で最も高く 3 人に 1 人が地域活動に消極的であることがうかがえます。参加したい活動としては、「地区のまちづくり活動」が 22.4%で最も高く、「祭りなどの町内会行事の世話等」が 12.3%、「介護施設等のボランティア」が 8.4%と続いています。

問3-2 地域活動に参加したい理由 <複数回答>

有効回答数 N=1,576

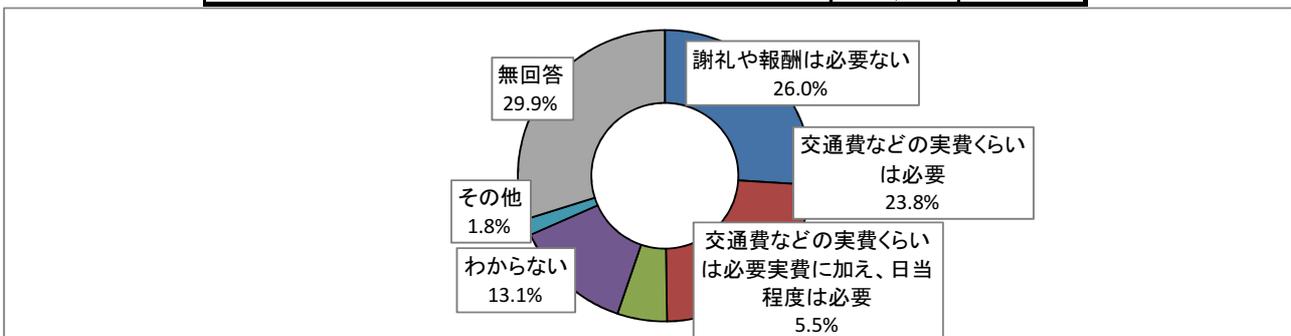
	回答数	割合
生活に充実感を持ちたいから	452	28.7%
自分の技術・経験を活かしたい	229	14.5%
新しい友人を得たい	172	10.9%
社会への見方を広めたい	200	12.7%
健康や体力に自信をつけたい	406	25.8%
お互いに助け合うことが大切だから	735	46.6%
地域社会に貢献したい	508	32.2%
わからない	24	1.5%
その他	36	2.3%
無回答	120	7.6%



地域活動に参加したい理由として、「お互いに助け合うことが大切だから」が46.6%で最も高く、半数近い結果となっています。その他、「地域社会に貢献したい」が32.2%、「生活に充実感を持ちたいから」が28.7%、「健康や体力に自信をつけたい」が25.8%と続いています。

問3-3 地域活動の報酬について

	回答数	割合
謝礼や報酬は必要ない	762	26.0%
交通費などの実費くらいは必要	696	23.8%
交通費などの実費くらいは必要実費に加え、日当程度は必要	160	5.5%
わからない	385	13.1%
その他	52	1.8%
無回答	875	29.9%
全体	2,930	100.0%

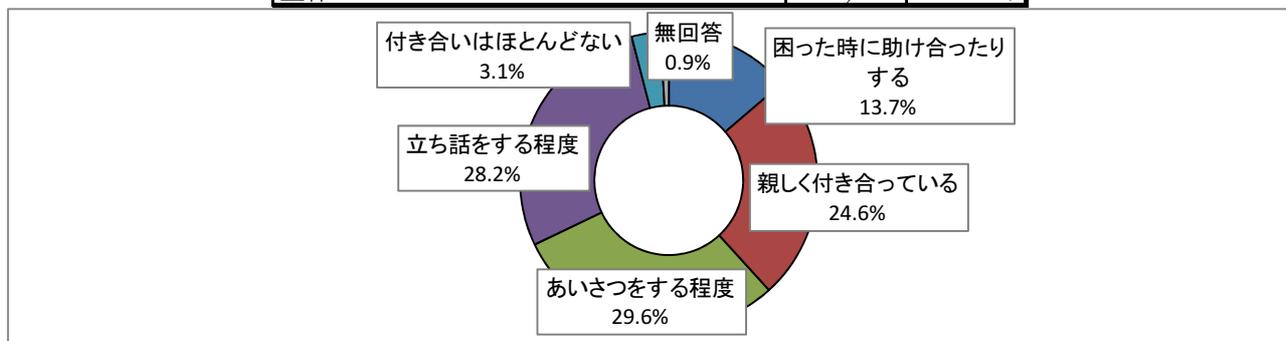


地域活動における報酬についてみると、「謝礼や報酬など」は必要ないと回答した者が26.0%で最も高く、「交通費など実費くらいは必要」が23.8%となっており、報酬について不要・少額と回答した者が半数程度となっています。

問4 近所の人との付き合い程度

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
困った時に助け合ったりする	400	13.7%
親しく付き合っている	722	24.6%
あいさつをする程度	866	29.6%
立ち話をする程度	825	28.2%
付き合いはほとんどない	91	3.1%
無回答	26	0.9%
全体	2,930	100.0%

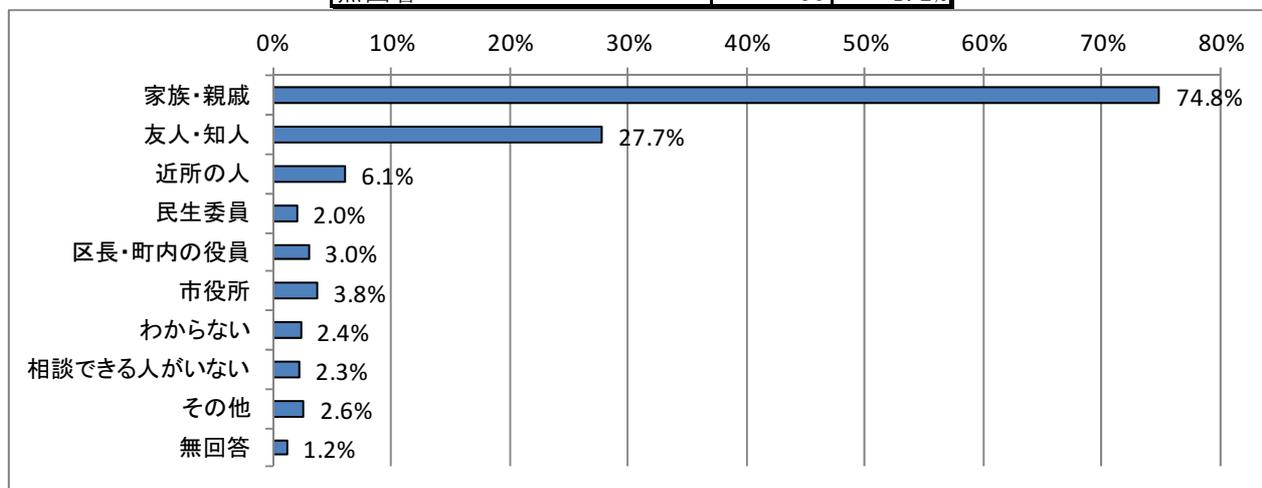


近所の人との付き合い程度についてみると、「あいさつをする程度」が29.6%、「立ち話をする程度」が28.2%で、立ち話やあいさつ程度の交流が6割程度となっています。また、「困った時に助け合ったりする」が13.7%、「親しく付き合っている」が24.6%で、密な交流をしている者は4割程度となっています。一方で、「付き合いがほとんどない」と回答した者は3.1%と少数ですが、近所との交流がない人がいることがうかがえます。

問5 日常生活などでの困りごとの相談相手 <複数回答>

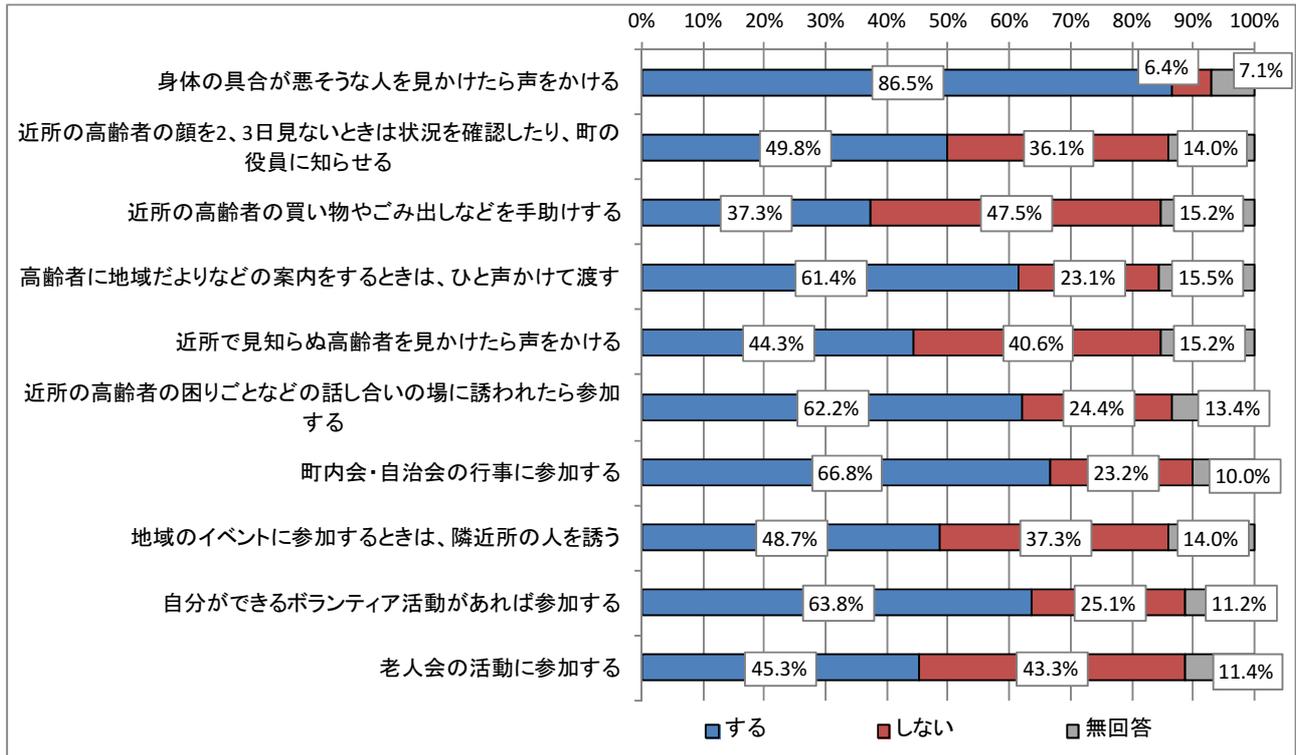
有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
家族・親戚	2,193	74.8%
友人・知人	813	27.7%
近所の人	179	6.1%
民生委員	60	2.0%
区長・町内の役員	89	3.0%
市役所	110	3.8%
わからない	69	2.4%
相談できる人がいない	66	2.3%
その他	77	2.6%
無回答	35	1.2%



日常生活などでの困りごとの相談相手について、「家族・親戚」が74.8%と多数を占めています。その他、「友人・知人」が27.7%、「近所の人」が6.1%と続いています。

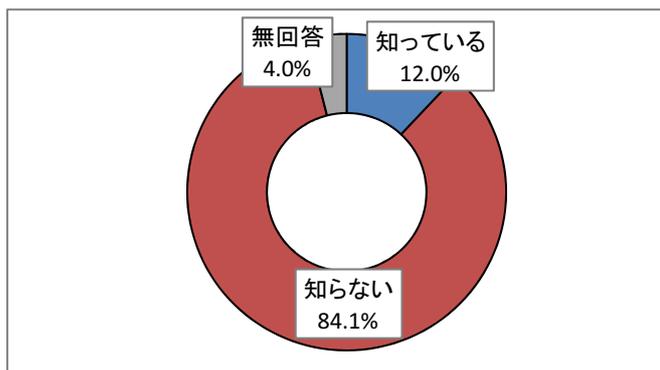
問 6 近所や町内会における行動についての自身の考え



近所や町内会における行動に関する自身の考えについて、「する」と回答した者が最も多いのが、「身体の具合が悪そうな人を見かけたら声をかける」で86.5%となっています。次いで6割を超えているのは、「町内会・自治会の行事に参加する」が66.8%、「自分ができるボランティア活動があれば参加する」が63.8%、「近所の高齢者の困りごとなどの話し合いの場に誘われたら参加する」が62.2%、「高齢者に地域だよりなどの案内をするときは、ひと声かけて渡す」が61.4%と続いています。一方、最も低いのは、「近所の高齢者の買い物やごみ出しなどを手助けする」で37.3%にとどまっています。

問 7-1 ボランティアポイント制度の認知度

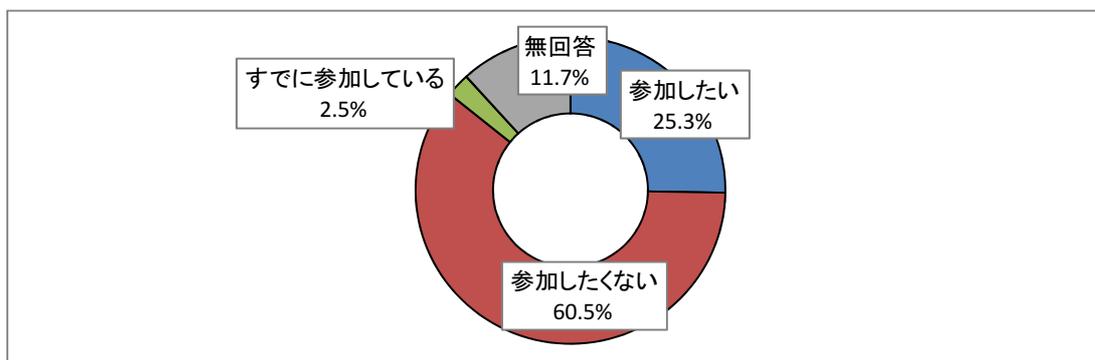
	回答数	割合
知っている	351	12.0%
知らない	2,463	84.1%
無回答	116	4.0%
全体	2,930	100.0%



ボランティアポイント制度の認知度について、「知っている」と回答した者が 84.1%に対し、「知らない」と回答した者は 12.0%と認知している者は 1 割程度にとどまっています。

問 7-2 ボランティアポイント制度利用によるボランティアへの参加意向

	回答数	割合
参加したい	740	25.3%
参加したくない	1,773	60.5%
すでに参加している	73	2.5%
無回答	344	11.7%
全体	2,930	100.0%

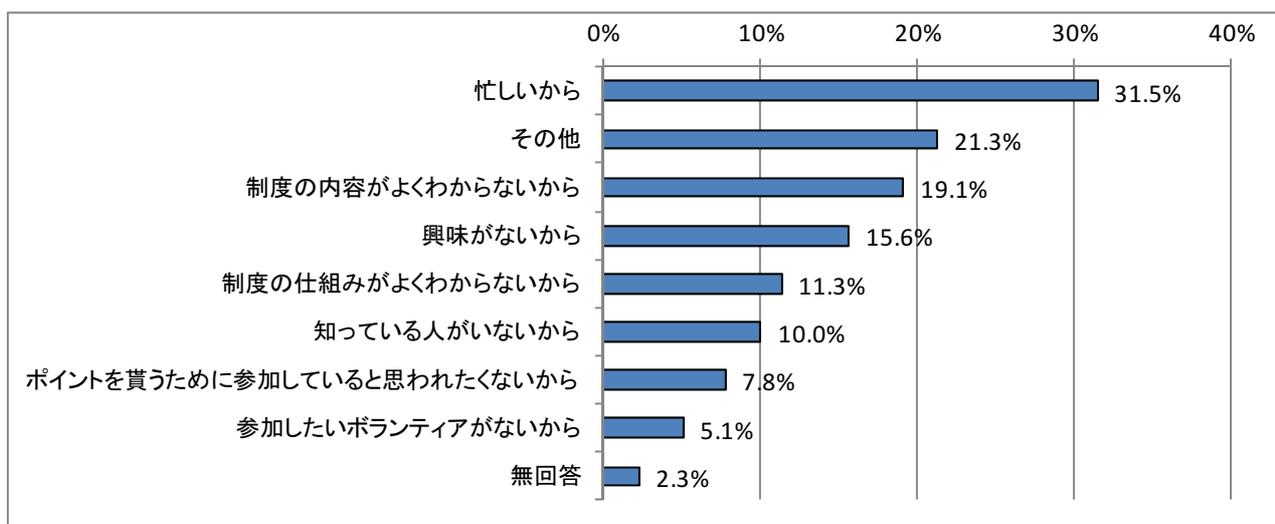


ボランティアポイント制度利用によるボランティアへの参加意向について、「参加したくない」が 60.5%で半数以上を占めています。一方、「参加したい」が 25.3%、「すでに参加している」が 2.5%となっており、制度の認知度が 12.0%に対し、参加意向のある者はそれを上回る結果となっています。

問 7-3 ボランティア制度を利用してボランティアに参加したくない理由 <複数回答>

有効回答数 N=1,773

	回答数	割合
忙しいから	558	31.5%
知っている人がいないから	178	10.0%
制度の内容がよくわからないから	339	19.1%
制度の仕組みがよくわからないから	201	11.3%
興味がないから	277	15.6%
ポイントを貰うために参加していると思われたくないから	138	7.8%
参加したいボランティアがないから	91	5.1%
その他	377	21.3%
無回答	41	2.3%

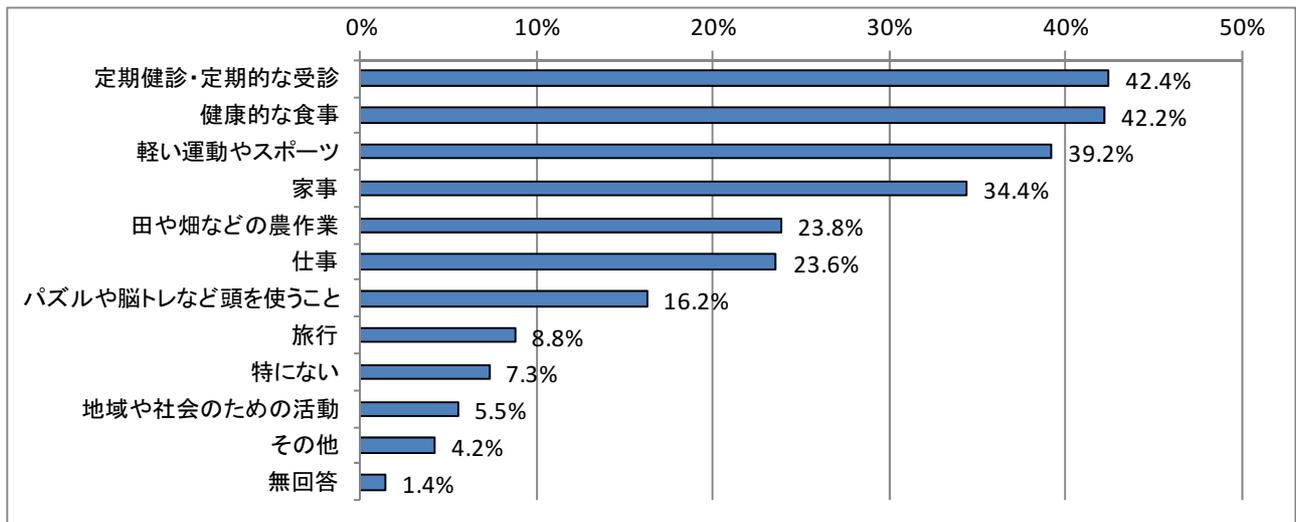


ボランティア制度を利用してボランティアに参加したくない理由として、「忙しいから」が 31.5% で最も高く、「制度の内容がよくわからないから」が 19.1%、「制度の仕組みがよくわからないから」が 11.3%、「知っている人がいないから」が 11.3%と認知度が低いことによる理由が 1 割～2 割程度となっています。

問 8-1 健康維持のための取り組み <複数回答>

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
健康的な食事	1,236	42.2%
軽い運動やスポーツ	1,148	39.2%
パズルや脳トレなど頭を使うこと	475	16.2%
定期健診・定期的な受診	1,243	42.4%
旅行	257	8.8%
地域や社会のための活動	162	5.5%
家事	1,007	34.4%
仕事	691	23.6%
田や畑などの農作業	698	23.8%
その他	124	4.2%
特にない	214	7.3%
無回答	42	1.4%

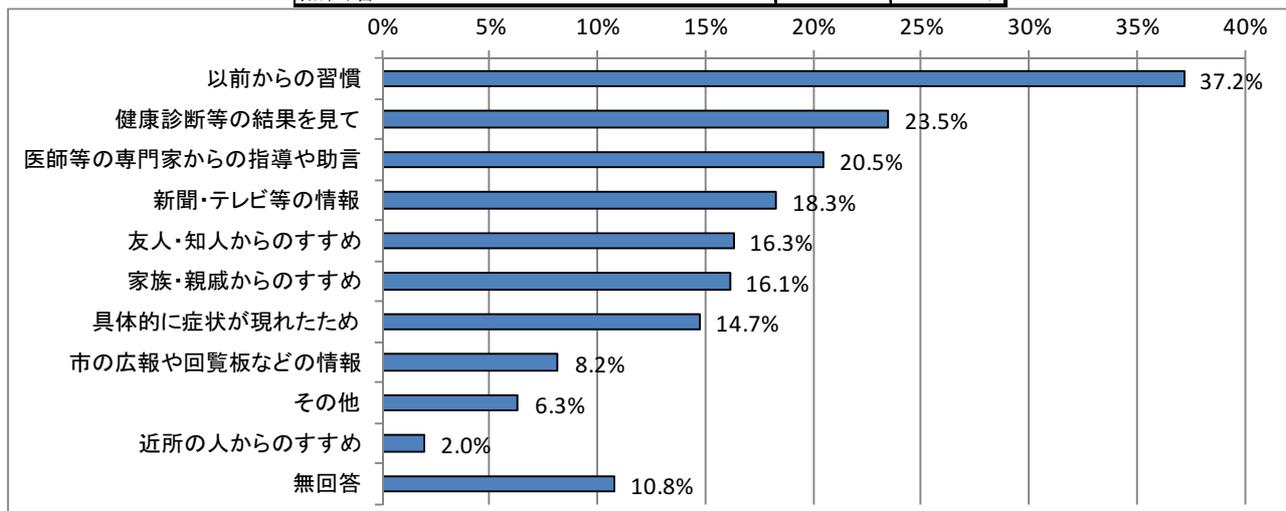


健康維持のための取り組みとして、「定期健診・定期的な受診」が42.4%で最も高く、「健康的な食事」が42.2%、「軽い運動やスポーツ」が39.2%と続いています。その他、「家事」が34.4%、「農作業」が23.8%、「仕事」が23.6%と日常の労働活動を健康維持に取り入れている人も比較的多いことがうかがえます。

問 8-2 健康維持のために取り組んだ理由 <複数回答>

有効回答数 N=2,753

	回答数	割合
家族・親戚からのすすめ	444	16.1%
友人・知人からのすすめ	449	16.3%
近所の人からのすすめ	54	2.0%
市の広報や回覧板などの情報	225	8.2%
医師等の専門家からの指導や助言	564	20.5%
具体的に症状が現れたため	406	14.7%
健康診断等の結果を見て	647	23.5%
新聞・テレビ等の情報	504	18.3%
以前からの習慣	1,023	37.2%
その他	174	6.3%
無回答	297	10.8%

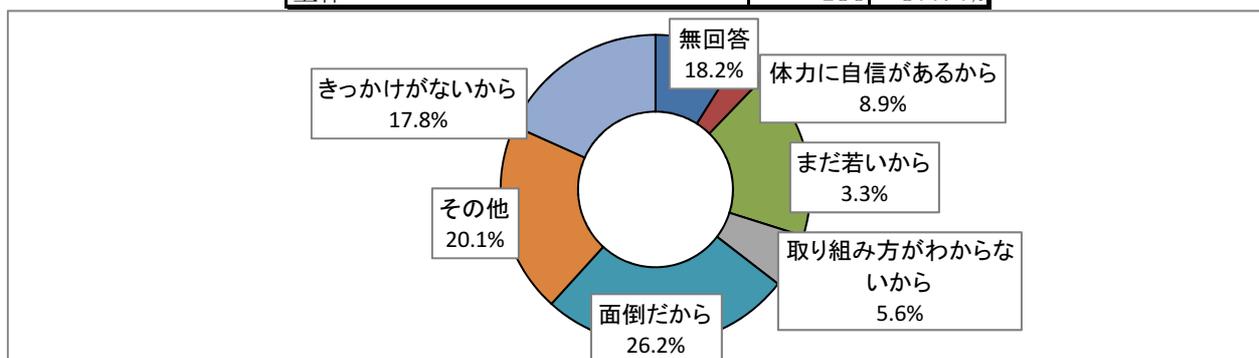


健康維持のための取り組みをしている者 2,753 名のうち、取り組んだ理由として、「以前からの習慣」が 37.2%で最も高く、「健康診断等の結果をみて」が 23.5%、「医師等の専門家からの指導や助言」が 20.5%と健康維持の習慣の重要性とともに、健康診断受診による予防意識の向上も健康維持に役立つことがうかがえます。

問 8-3 健康維持のために取り組んでいない理由

有効回答数 N=214

	回答数	割合
体力に自信があるから	19	8.9%
まだ若いから	7	3.3%
きっかけがないから	38	17.8%
取り組み方がわからないから	12	5.6%
面倒だから	56	26.2%
その他	43	20.1%
無回答	39	18.2%
全体	214	100.0%

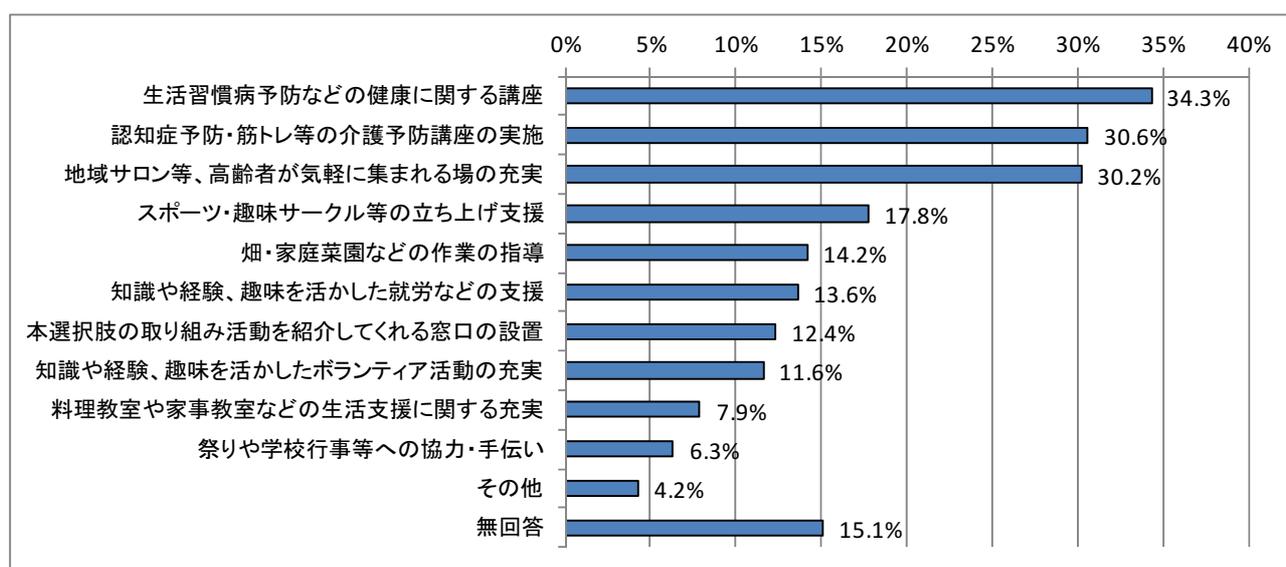


健康維持のために取り組んでいない理由として、「面倒だから」が 26.2%で最も高く、「きっかけがないから」が 17.8%と続いています。

問9 健康維持のために地域で必要な取り組み <複数回答>

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
生活習慣病予防などの健康に関する講座	1,005	34.3%
知識や経験、趣味を活かした就労などの支援	399	13.6%
知識や経験、趣味を活かしたボランティア活動の充実	340	11.6%
認知症予防・筋トレ等の介護予防講座の実施	897	30.6%
スポーツ・趣味サークル等の立ち上げ支援	521	17.8%
地域サロン等、高齢者が気軽に集まれる場の充実	886	30.2%
料理教室や家事教室などの生活支援に関する充実	231	7.9%
畑・家庭菜園などの作業の指導	416	14.2%
祭りや学校行事等への協力・手伝い	185	6.3%
本選択肢の取り組み活動を紹介してくれる窓口の設置	362	12.4%
その他	124	4.2%
無回答	443	15.1%



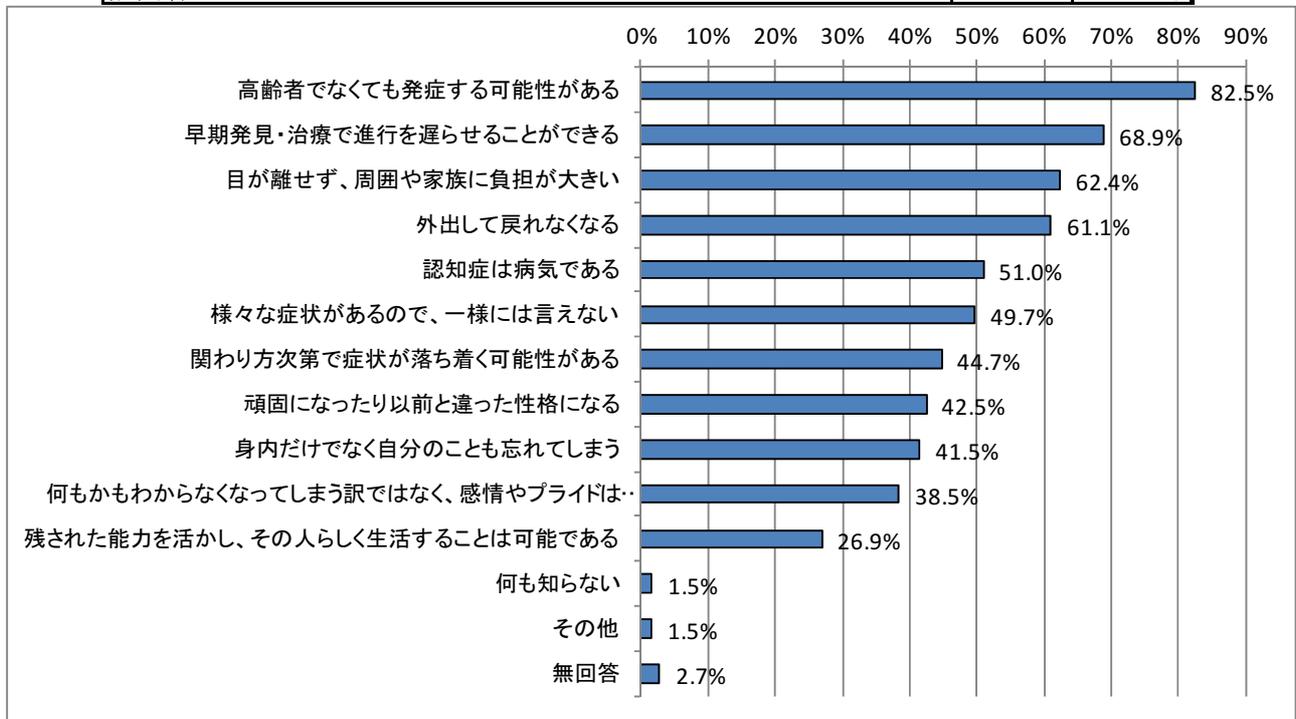
健康維持のために地域で必要な取り組みについて、「生活習慣病予防などの健康に関する講座」が34.3%で最も高く、「認知症予防・筋トレ等の介護予防講座の実施」が30.6%、「地域サロン等、高齢者が気軽に集まれる場の充実」が30.2%と続いています。

③ 認知症について

問 10 認知症について知っていること <複数回答>

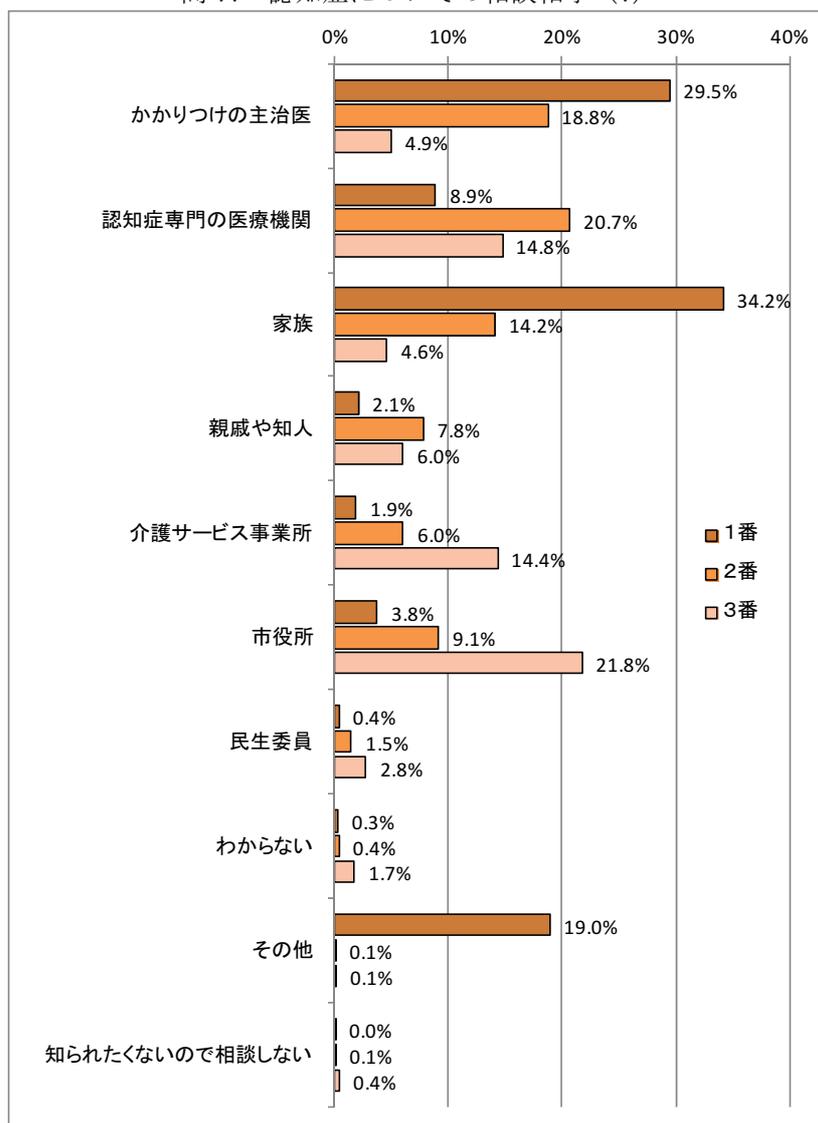
有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
認知症は病気である	1,493	51.0%
高齢者でなくても発症する可能性がある	2,417	82.5%
早期発見・治療で進行を遅らせることができる	2,019	68.9%
何もかもわからなくなってしまう訳ではなく、感情やプライドは保たれている	1,127	38.5%
関わり方次第で症状が落ち着く可能性がある	1,311	44.7%
身内だけでなく自分のことも忘れてしまう	1,217	41.5%
外出して戻れなくなる	1,790	61.1%
頑固になったり以前と違った性格になる	1,244	42.5%
目が離せず、周囲や家族に負担が大きい	1,828	62.4%
残された能力を活かし、その人らしく生活することは可能である	788	26.9%
様々な症状があるので、一様には言えない	1,457	49.7%
何も知らない	45	1.5%
その他	43	1.5%
無回答	80	2.7%



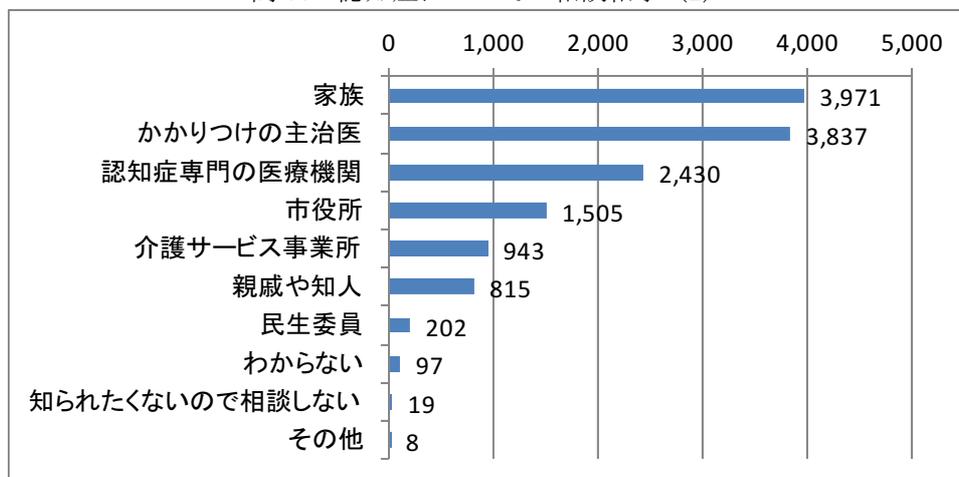
認知症について知っていることとして、「高齢者でなくても発症する可能性がある」が 82.5%と最も高く、「早期発見・知用で進行を遅らせることができる」が 68.9%、「目が離せず、周囲や家族に負担が大きい」が 62.4%、「外出して戻れなくなる」が 61.1%と続いています。

問 11 認知症についての相談相手 (1)



認知症についての相談相手の回答結果を順位付けした結果として、「1番」「2番」「3番」を選んだ回答の割合について、上記にまとめています。

問 11 認知症についての相談相手 (2)

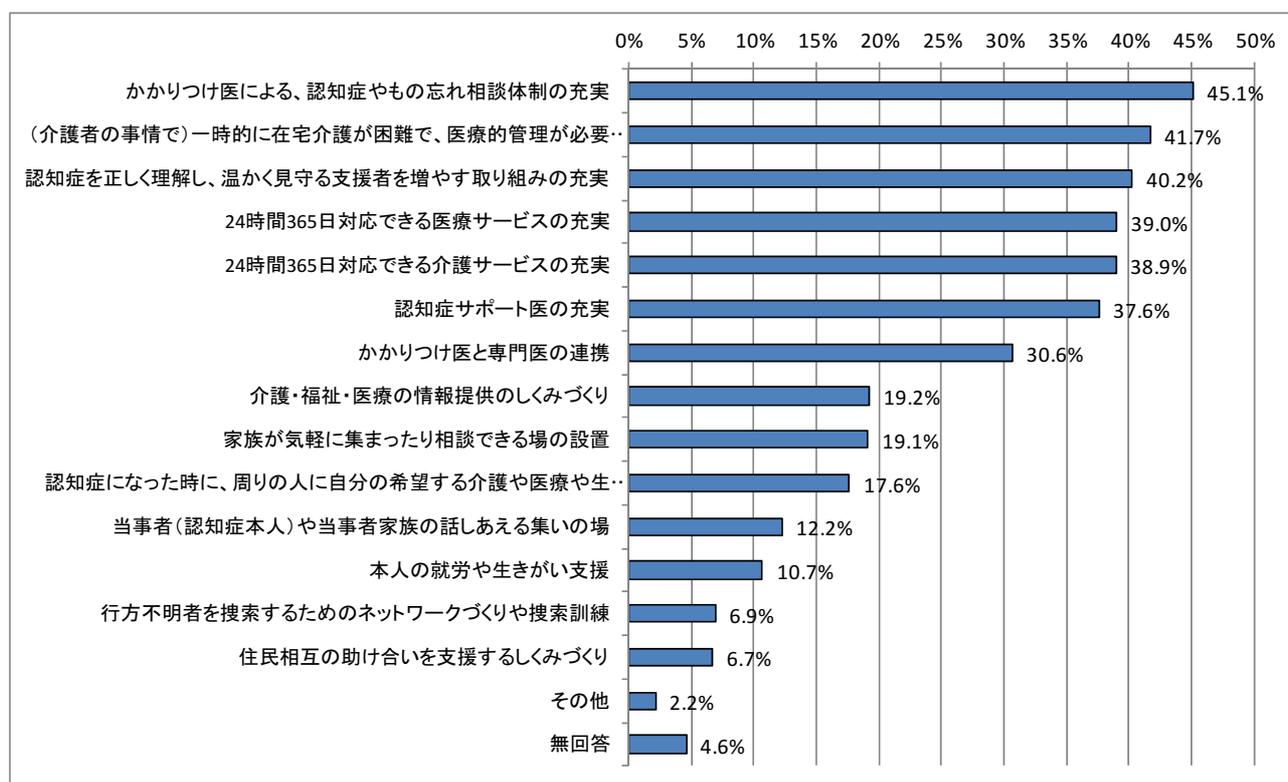


「1番」を3点、「2番」を2点、「3番」を1点として、回答者全員の点数を合計した結果は上記の通りとなりました。

問 12 認知症のための充実すべき施策 <複数回答>

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
かかりつけ医による、認知症やもの忘れ相談体制の充実	1,321	45.1%
認知症サポート医の充実	1,101	37.6%
認知症を正しく理解し、温かく見守る支援者を増やす取り組みの充実	1,179	40.2%
24時間365日対応できる介護サービスの充実	1,141	38.9%
24時間365日対応できる医療サービスの充実	1,143	39.0%
介護・福祉・医療の情報提供のしくみづくり	563	19.2%
かかりつけ医と専門医の連携	898	30.6%
家族が気軽に集まったり相談できる場の設置	560	19.1%
本人の就労や生きがい支援	313	10.7%
住民相互の助け合いを支援するしくみづくり	197	6.7%
認知症になった時に、周りの人に自分の希望する介護や医療や生活習慣についてわかってもらえるように、予め書き留めておくことに対する支援	517	17.6%
(介護者の事情で)一時的に在宅介護が困難で、医療的管理が必要な方の短期間入院の受け入れ	1,221	41.7%
行方不明者を検索するためのネットワークづくりや検索訓練	203	6.9%
当事者(認知症本人)や当事者家族の話しあえる集いの場	358	12.2%
その他	63	2.2%
無回答	135	4.6%

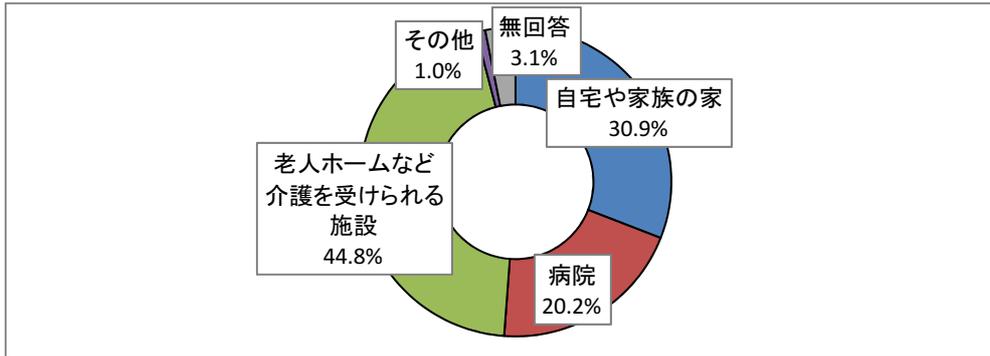


認知症のための充実すべき施策として、「かかりつけ医による、認知症やもの忘れ相談体制の充実」が45.1%で最も高く、「一時的に在宅介護が困難で、医療的管理が必要な方の短期間入院受け入れ」が41.7%、「認知症を正しく理解し、温かく見守る支援者を増やす取り組みの充実」が40.2%と続いています。

④ 医療（療養）について

問 13-1 長期療養や介護が必要な状態になった時の暮らし場所の意向

	回答数	割合
自宅や家族の家	906	30.9%
病院	593	20.2%
老人ホームなど介護を受けられる施設	1,312	44.8%
その他	28	1.0%
無回答	91	3.1%
全体	2,930	100.0%

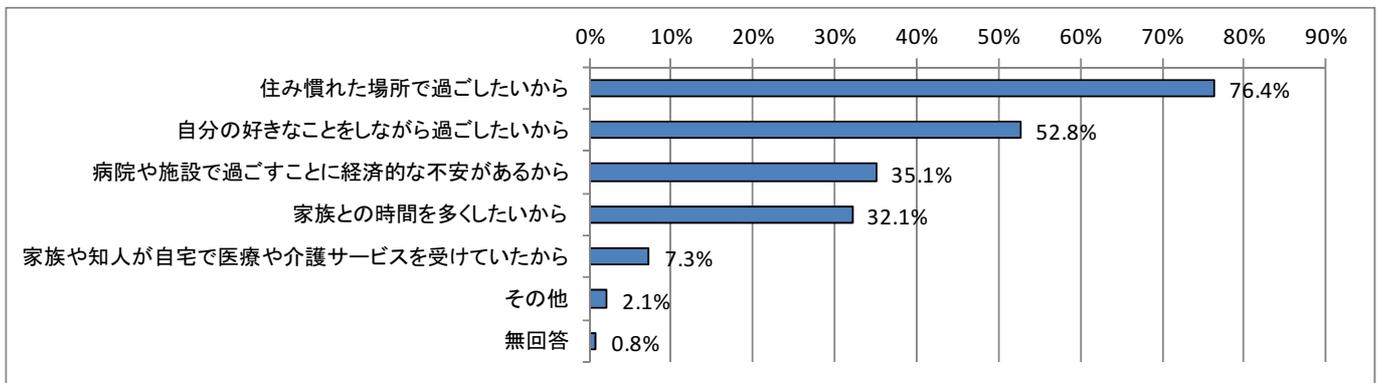


長期療養や介護が必要な状態になった時の暮らし場所として、「老人ホームなど介護を受けられる施設」が 44.8%で最も高く、次いで「自宅や家族の家」が 30.9%、「病院」が 20.2%となっています。

問 13-2 長期療養・介護で「自宅や家族の家」を望む理由 <複数回答>

有効回答数 N=906

	回答数	割合
住み慣れた場所で過ごしたいから	692	76.4%
自分の好きなことをしながら過ごしたいから	478	52.8%
家族との時間を多くしたいから	291	32.1%
病院や施設で過ごすことに経済的な不安があるから	318	35.1%
家族や知人が自宅で医療や介護サービスを受けていたから	66	7.3%
その他	19	2.1%
無回答	7	0.8%

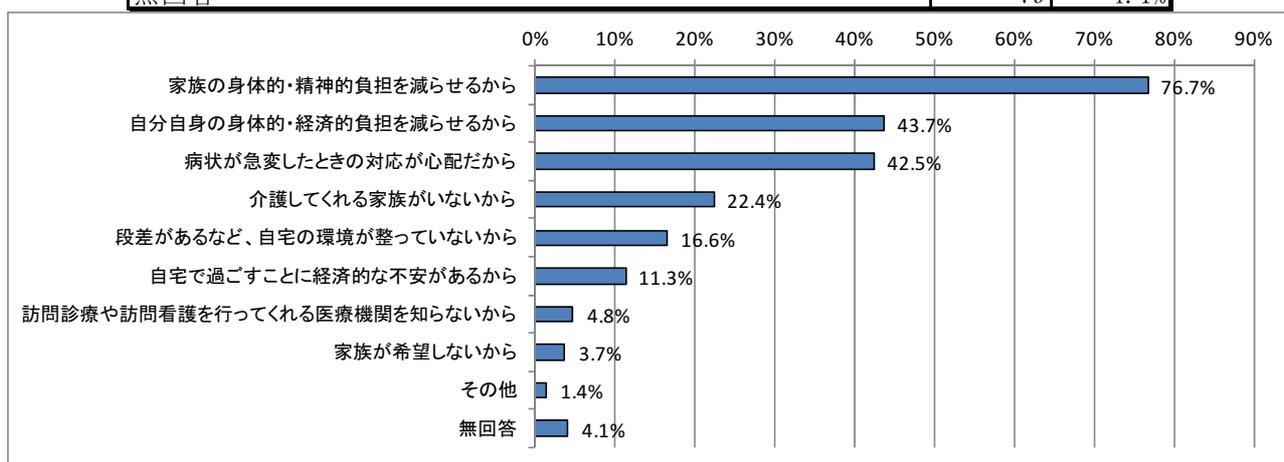


在宅療養・在宅介護を望む理由として、「住み慣れた場所で過ごしたいから」が 76.4%で最も高く、「自分の好きなことをしながら過ごしたいから」が 52.8%と続いています。

問 13-3 長期療養・介護で「病院」や「介護施設」を望む理由 <複数回答>

有効回答数 N=1,905

	回答数	割合
家族の身体的・精神的負担を減らせるから	1,462	76.7%
自分自身の身体的・経済的負担を減らせるから	833	43.7%
自宅で過ごすことに経済的な不安があるから	216	11.3%
病状が急変したときの対応が心配だから	809	42.5%
介護してくれる家族がいないから	427	22.4%
家族が希望しないから	71	3.7%
訪問診療や訪問看護を行ってくれる医療機関を知らないから	91	4.8%
段差があるなど、自宅の環境が整っていないから	317	16.6%
その他	27	1.4%
無回答	79	4.1%

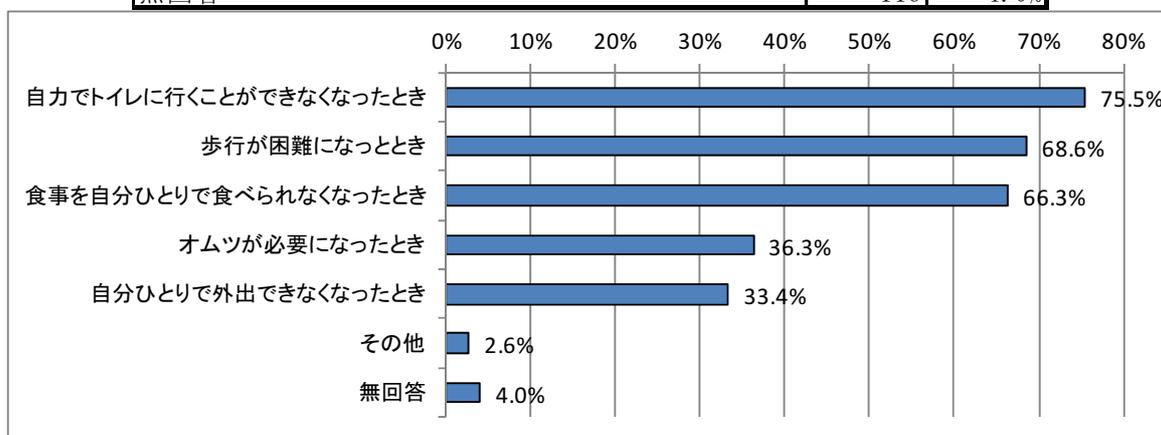


長期療養・介護において、病院や介護施設を望む理由として、「家族の身体的・精神的負担を減らせるから」が76.7%で最も高く、「自分自身の身体的・経済的負担を減らせるから」が43.7%、「病状が急変したときの対応が心配だから」が42.5%と続いています。

問 14 自身がどのような状態になったときに、自宅療養生活の継続が困難だと感じるか <複数回答>

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
オムツが必要になったとき	1,064	36.3%
歩行が困難になったとき	2,009	68.6%
自力でトイレに行くことができなくなったとき	2,212	75.5%
食事を自分ひとりで食べられなくなったとき	1,944	66.3%
自分ひとりで外出できなくなったとき	978	33.4%
その他	77	2.6%
無回答	116	4.0%



自宅での療養生活の継続が困難だと感じる状態について、「自力でトイレに行くことができなくなった時」が75.5%で最も高く、「歩行が困難になったとき」が68.6%、「食事を自分ひとりで食べられなくなったとき」が66.3%となっています。

問 15 在宅介護の支援ニーズ <複数回答>

<自身の自宅療養>

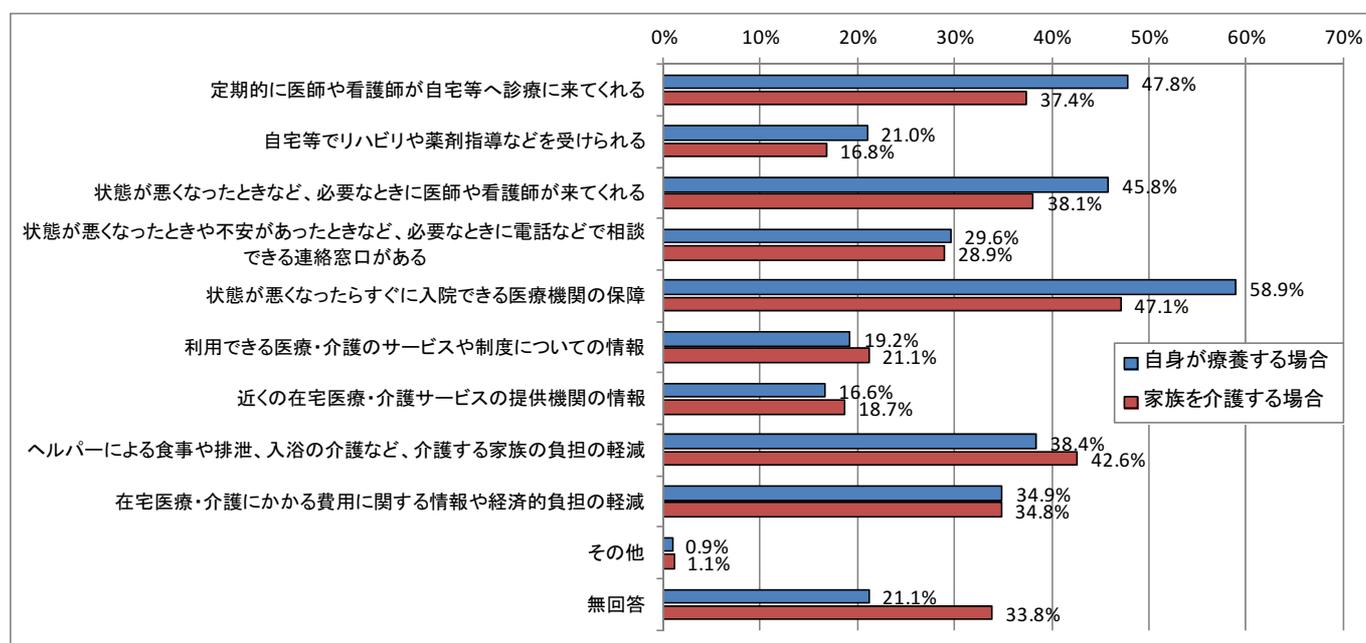
有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
定期的に医師や看護師が自宅等へ診療に来てくれる	1,401	47.8%
自宅等でリハビリや薬剤指導などを受けられる	615	21.0%
状態が悪くなったときなど、必要ときに医師や看護師が来てくれる	1,343	45.8%
状態が悪くなったときや不安があったときなど、必要ときに電話などで相談できる連絡窓口がある	866	29.6%
状態が悪くなったらすぐに入院できる医療機関の保障	1,727	58.9%
利用できる医療・介護のサービスや制度についての情報	564	19.2%
近くの在宅医療・介護サービスの提供機関の情報	487	16.6%
ヘルパーによる食事や排泄、入浴の介護など、介護する家族の負担の軽減	1,125	38.4%
在宅医療・介護にかかる費用に関する情報や経済的負担の軽減	1,023	34.9%
その他	27	0.9%
無回答	619	21.1%

<家族の在宅介護>

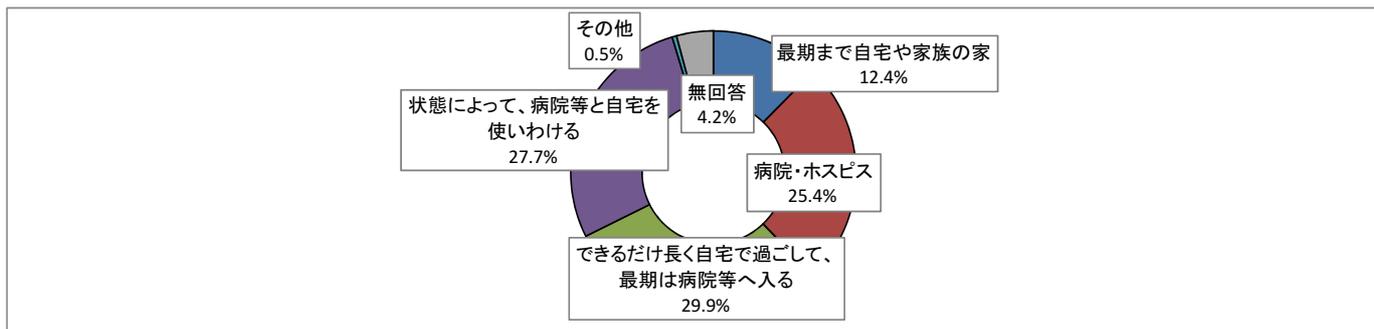
有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
定期的に医師や看護師が自宅等へ診療に来てくれる	1,095	37.4%
自宅等でリハビリや薬剤指導などを受けられる	491	16.8%
状態が悪くなったときなど、必要ときに医師や看護師が来てくれる	1,117	38.1%
状態が悪くなったときや不安があったときなど、必要ときに電話などで相談できる連絡窓口がある	847	28.9%
状態が悪くなったらすぐに入院できる医療機関の保障	1,379	47.1%
利用できる医療・介護のサービスや制度についての情報	619	21.1%
近くの在宅医療・介護サービスの提供機関の情報	547	18.7%
ヘルパーによる食事や排泄、入浴の介護など、介護する家族の負担の軽減	1,249	42.6%
在宅医療・介護にかかる費用に関する情報や経済的負担の軽減	1,019	34.8%
その他	32	1.1%
無回答	991	33.8%



在宅療養・介護の支援ニーズについてみると、自身が療養する場合においては「状態が悪くなったらすぐに入院できる医療機関の保障」が 58.9%で最も高く、「定期的に医師や看護師が自宅等へ診療に来てくれる」が 47.8%、「状態が悪くなったときなど、必要ときに医師や看護師が来てくれる」が 45.8%と続いています。一方、家族を介護する場合においては、自身の療養と同様に入院できる医療機関の保障が 47.1%で最も高く、次いで「ヘルパーによる食事や排せつ、入浴の介護など、介護する家族の負担の軽減」が 42.6%となっています。

問 16 余命宣告時の人生最期の過ごし場所



	回答数	割合
最期まで自宅や家族の家	362	12.4%
病院・ホスピス	745	25.4%
できるだけ長く自宅で過ごして、最期は病院等へ入る	875	29.9%
状態によって、病院等と自宅を使い分ける	811	27.7%
その他	15	0.5%
無回答	122	4.2%
全体	2,930	100.0%

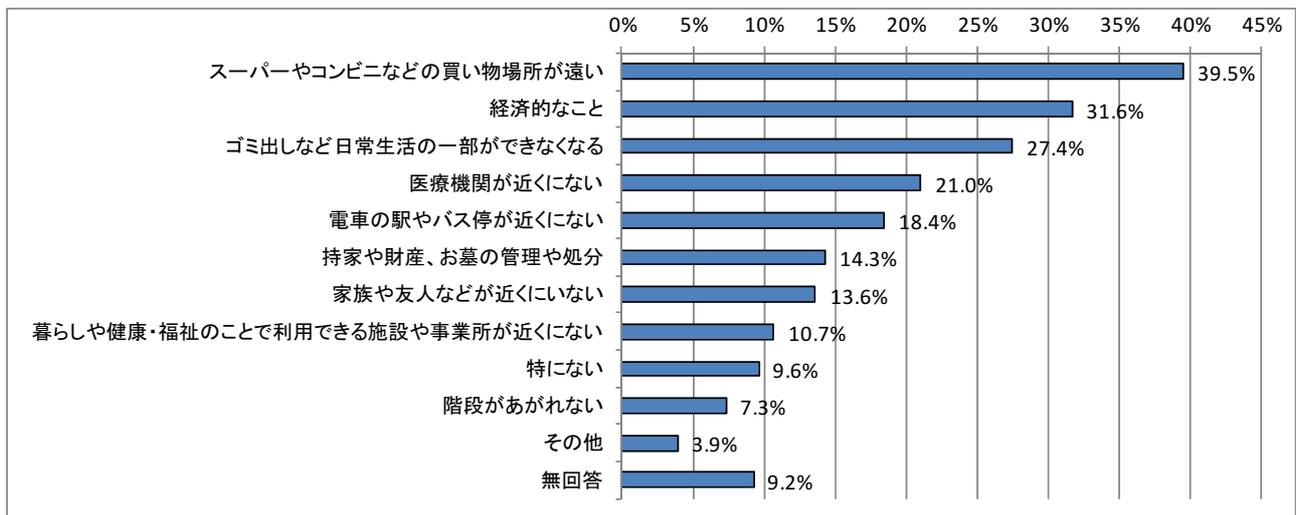
余命宣告時の人生最期の過ごし場所について、「できるだけ長く自宅で過ごして、最後は病院などへ入る」が 29.9%で最も高く、「状態によって、病院等と自宅を使い分ける」が 27.7%、「病院・ホスピス」が 25.4%と続いています。また、「最後まで自宅や家族の家」を望む者は 12.4%となっています。

⑤ 住まいと暮らしについて

問 17 1人になっても自宅で暮らすうえで不安なこと <複数回答>

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
家族や友人などが近くにいない	399	13.6%
スーパーやコンビニなどの買い物場所が遠い	1,156	39.5%
電車の駅やバス停が近くにない	540	18.4%
医療機関が近くにない	616	21.0%
暮らしや健康・福祉のことで利用できる施設や事業所が近くにない	313	10.7%
階段があがれない	215	7.3%
ゴミ出しなど日常生活の一部ができなくなる	804	27.4%
持家や財産、お墓の管理や処分	418	14.3%
経済的なこと	927	31.6%
特にない	282	9.6%
その他	115	3.9%
無回答	271	9.2%

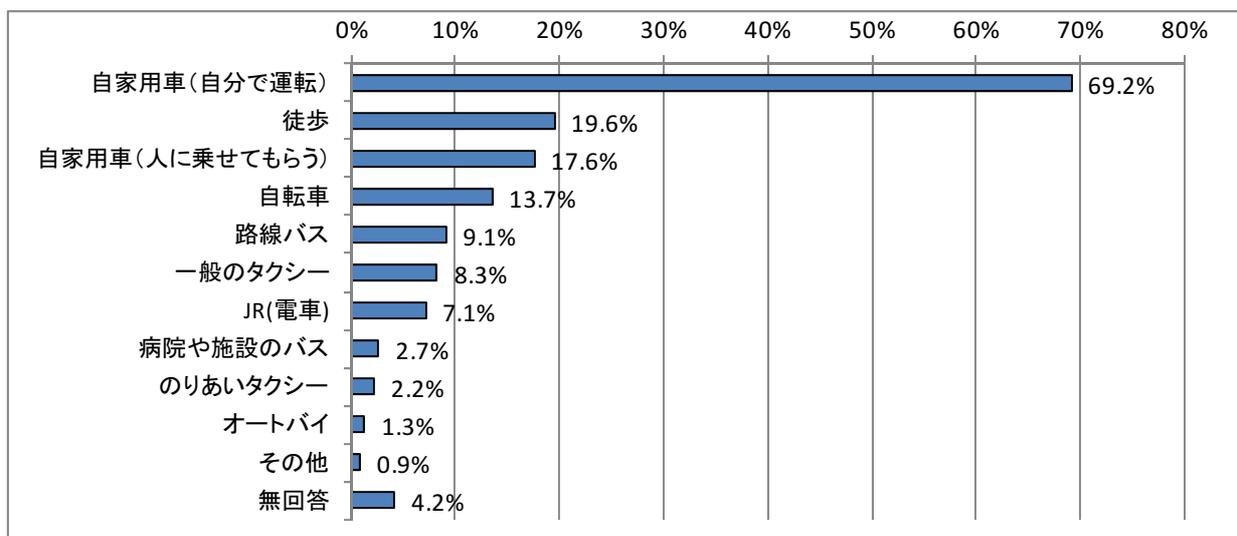


1人になっても自宅で暮らすうえで不安なこととして、「買い物場所が遠い」が39.5%で最も高く、「経済的なこと」が31.6%、「日常生活の一部ができなくなる」が27.4%と続いています。

問 18-1 普段の移動手段 <複数回答>

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
自家用車（自分で運転）	2,027	69.2%
自家用車（人に乗せてもらう）	517	17.6%
オートバイ	38	1.3%
自転車	400	13.7%
一般のタクシー	242	8.3%
のりあいタクシー	65	2.2%
路線バス	267	9.1%
JR(電車)	209	7.1%
病院や施設のバス	78	2.7%
徒歩	574	19.6%
その他	25	0.9%
無回答	122	4.2%

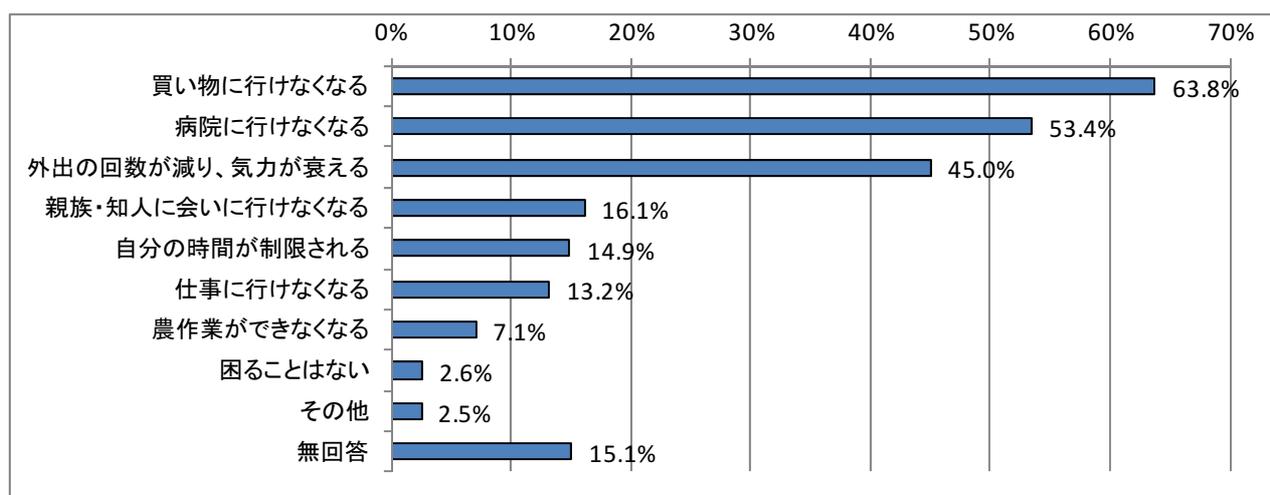


普段の移動手段として、「自家用車（自分で運転）」が 69.2%で多数を占めています。次いで「徒歩」が 19.6%、「自家用車（人に乗せてもらう）」が 17.6%と続いており、移動手段として自家用車の活用頻度が高いことがうかがえます。

問 18-2 運転ができなくなった場合の困難なこと <複数回答>

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
買い物に行けなくなる	1,868	63.8%
病院に行けなくなる	1,566	53.4%
自分の時間が制限される	437	14.9%
仕事に行けなくなる	386	13.2%
農作業ができなくなる	208	7.1%
親族・知人に会いに行けなくなる	472	16.1%
外出の回数が減り、気力が衰える	1,319	45.0%
困ることはない	77	2.6%
その他	74	2.5%
無回答	441	15.1%



運転できなくなった場合の困難なこととして、「買い物に行けなくなる」が 63.8%で最も高く、「病院に行けなくなる」が 53.4%、「外出の回数が減り、気力が衰える」が 45.0%と続いています。

⑥ 介護保険制度や高齢者福祉について

問 19 介護保険制度について知っていること <複数回答>

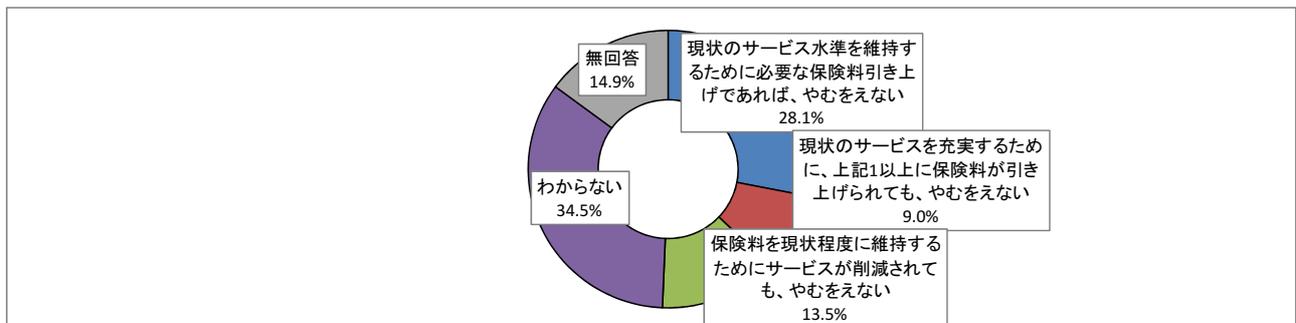
有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
介護サービスの費用の半分は国・県・市の公費、約3割が40～64歳の介護保険料、残りの約2割が65歳以上の介護保険料で賄われている	775	26.5%
40～64歳の人の介護保険料は、医療保険料と一緒に納付している	700	23.9%
介護サービスを利用するには、要介護（要支援）認定が必要である	1,890	64.5%
介護予防や高齢者福祉の事業にも介護保険料が使われている	530	18.1%
介護予防サービスの一部は、要介護（要支援）認定がなくても利用できる	238	8.1%
40～64歳の人は、特定の病気の場合のみ要介護（要支援）認定の申請ができる	406	13.9%
介護サービスを利用するときには、利用料の1割（2割）の負担が必要である	1,085	37.0%
介護保険料を滞納すると、介護サービスを利用するときの利用料が3割の負担になる場合がある	222	7.6%
この中で知っていることはない	370	12.6%
無回答	402	13.7%

介護保険制度について知っていることとして、「介護サービスを利用するには、要介護（要支援）認定は必要である」が 64.5%で最も高く、次いで「介護サービスを利用するときには、利用料の負担が必要である」が 37.0%と続いています。

問 20 介護保険料の負担についての方針

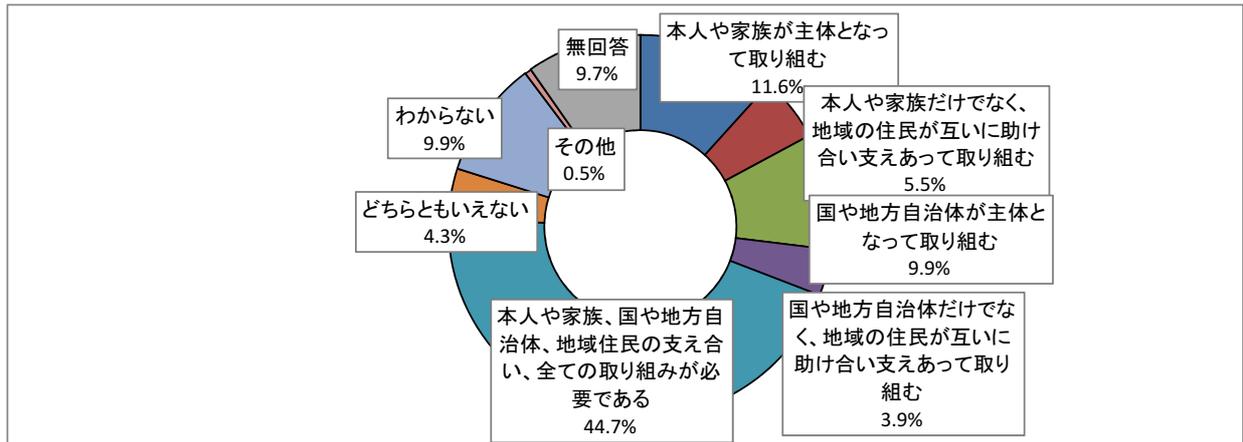
	回答数	割合
現状のサービス水準を維持するために必要な保険料引き上げであれば、やむをえない	822	28.1%
現状のサービスを充実するために、上記1以上に保険料が引き上げられても、やむをえない	265	9.0%
保険料を現状程度に維持するためにサービスが削減されても、やむをえない	397	13.5%
わからない	1,010	34.5%
無回答	436	14.9%
全体	2,930	100.0%



介護保険料の負担についての方針として、「わからない」が 34.5%で最も高くなっている一方、次いで引き上げ「現状のサービス水準を維持するために必要な保険料引き上げであれば、やむをえない」が 28.1%となっており、引き上げの必要を感じている者が他の方針と比べて多い結果となっています。

問 21 高齢者介護の在り方について

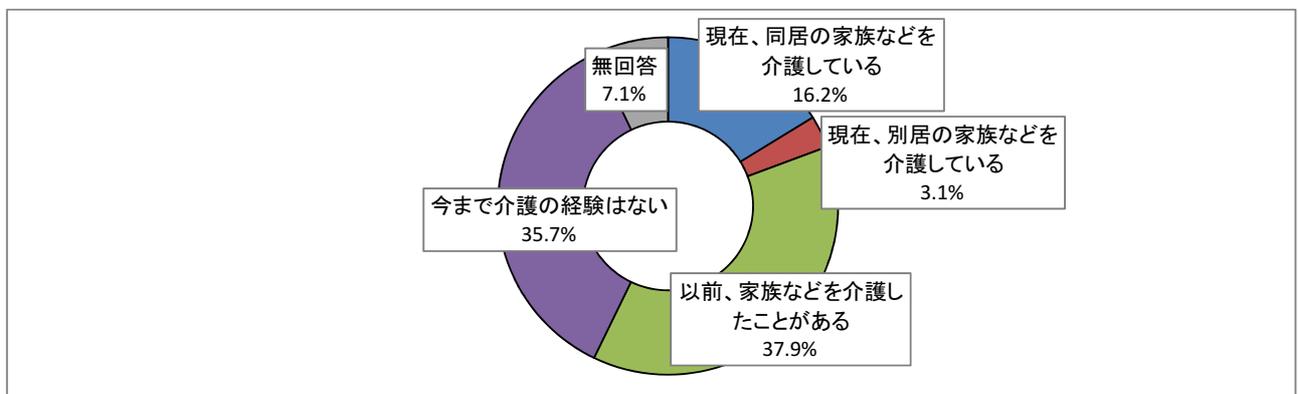
	回答数	割合
本人や家族が主体となって取り組む	341	11.6%
本人や家族だけでなく、地域の住民が互いに助け合い支えあって取り組む	160	5.5%
国や地方自治体が主体となって取り組む	289	9.9%
国や地方自治体だけでなく、地域の住民が互いに助け合い支えあって取り組む	115	3.9%
本人や家族、国や地方自治体、地域住民の支え合い、全ての取り組みが必要である	1,310	44.7%
どちらともいえない	126	4.3%
わからない	290	9.9%
その他	16	0.5%
無回答	283	9.7%
全体	2,930	100.0%



高齢者介護の在り方についてみると、「本人や家族、国や地方自治体、地域住民の支えあい、すべての取り組みが必要である」と回答した者が **44.7%** で半数近くを占め最も高い結果となっています。次いで「本人や家族が主体となって取り組む」が **11.6%** と続いています。

問 22 家族などの介護経験

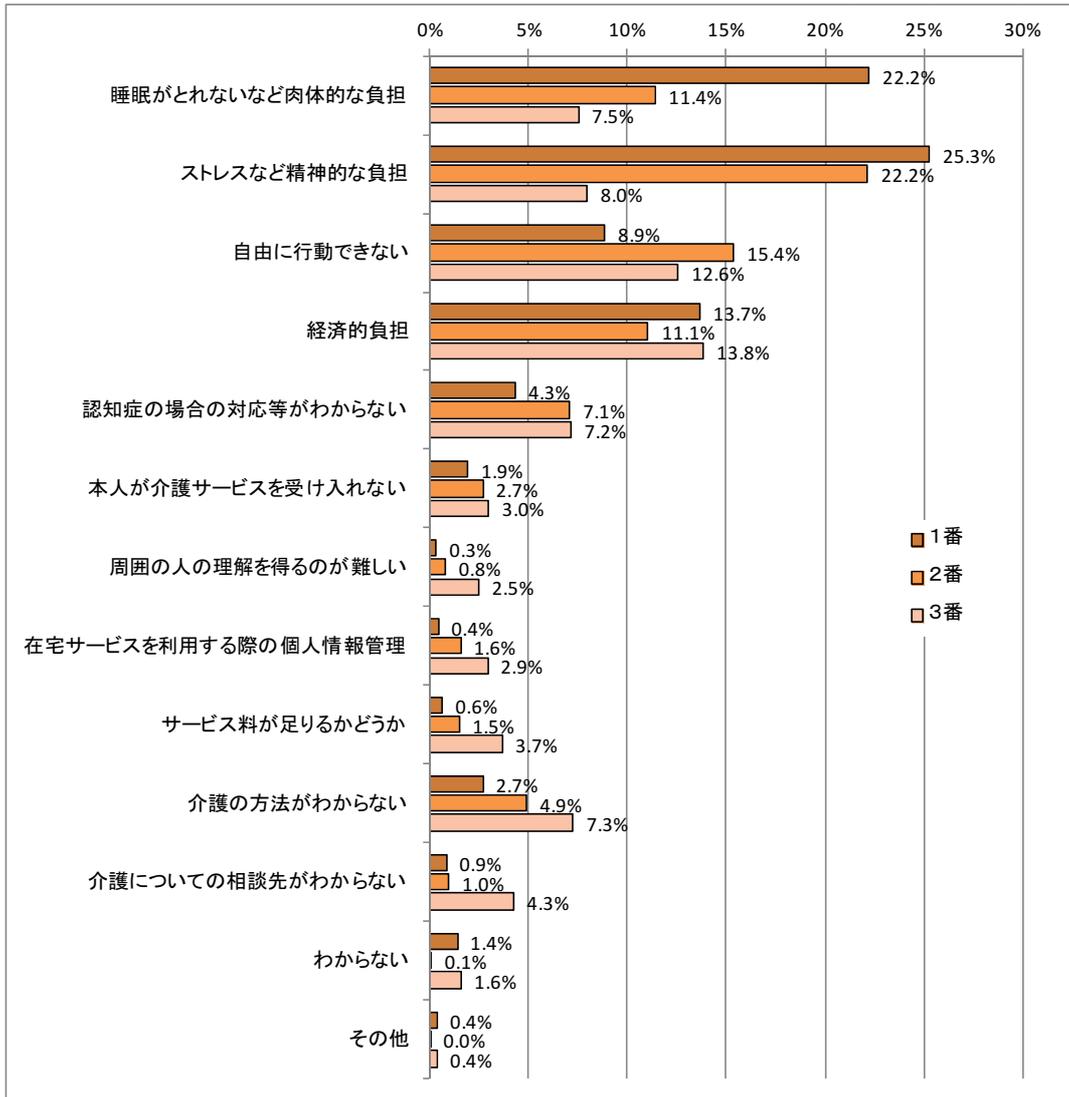
	回答数	割合
現在、同居の家族などを介護している	475	16.2%
現在、別居の家族などを介護している	90	3.1%
以前、家族などを介護したことがある	1,110	37.9%
今まで介護の経験はない	1,047	35.7%
無回答	208	7.1%
全体	2,930	100.0%



家族などの介護経験として、「以前、家族などを介護したことがある」が **37.9%** と最も高く、「今まで介護の経験はない」が **35.7%** と続いています。

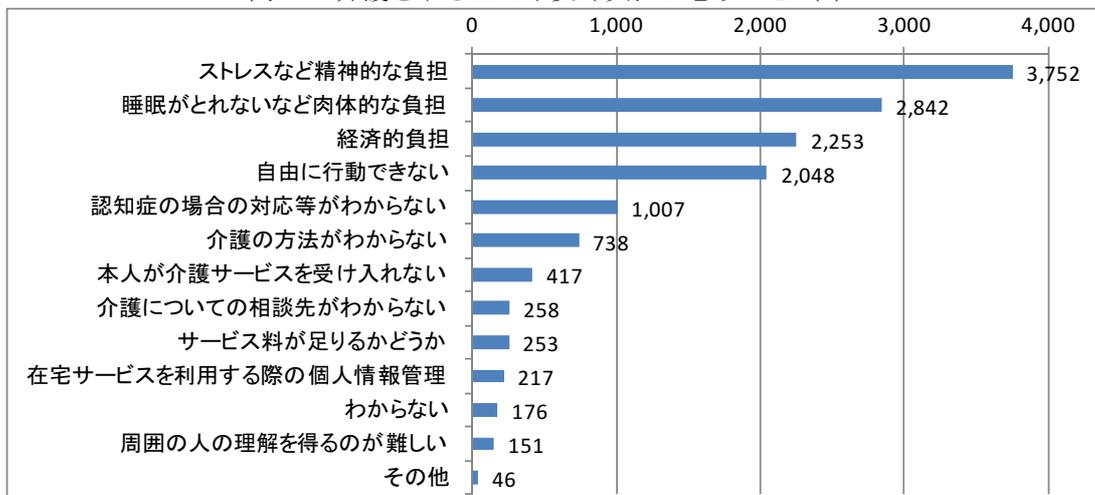
問 23 介護をする上で不安や負担に思うこと (1)

有効回答数 N=2,930



介護をする上で不安や負担に思うことについて順位付けした結果として、「1番」「2番」「3番」を選んだ回答の割合について、上記にまとめています。

問 23 介護をする上で不安や負担に思うこと (2)

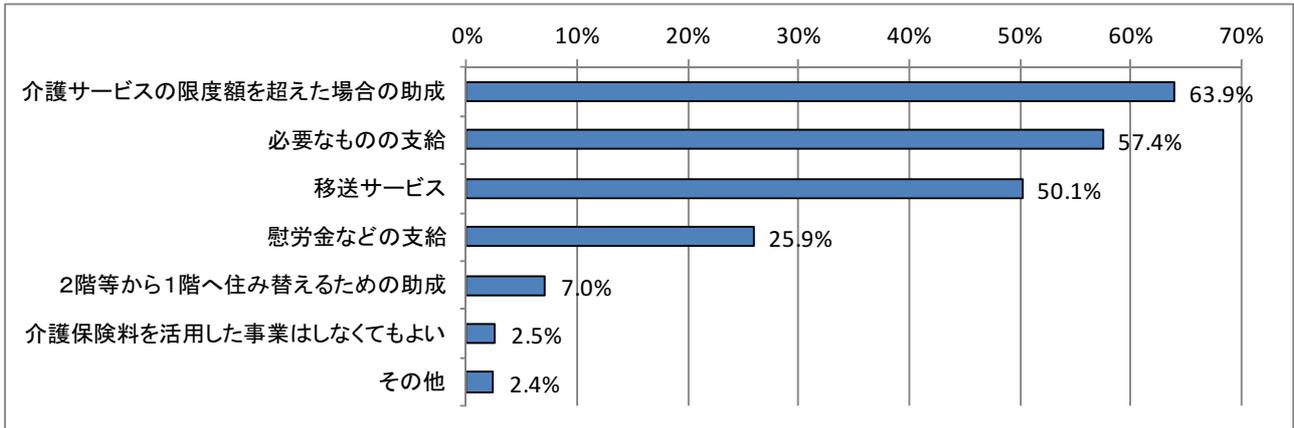


「1番」を3点、「2番」を2点、「3番」を1点として、回答者全員の点数を合計した結果は上記の通りとなりました。

問 24 介護保険料を活用して家族の介護をしている家族の負担を減らすための事業ニーズ <複数回答>

有効回答数 N=2,930

	回答数	割合
必要なものの支給	1,683	57.4%
慰労金などの支給	758	25.9%
移送サービス	1,469	50.1%
介護サービスの限度額を超えた場合の助成	1,872	63.9%
2階等から1階へ住み替えるための助成	206	7.0%
その他	69	2.4%
介護保険料を活用した事業はしなくてもよい	74	2.5%
無回答	307	10.5%



介護保険料を活用して、自宅で家族の介護をしている家族の負担を減らすための事業ニーズとして、「介護サービスの限度額を超えた場合の助成」が63.9%で最も高く、「必要なものの支給」が57.4%、「移送サービス」が50.1%と続いています。

第3章 調査結果 ～日常生活圏域別～

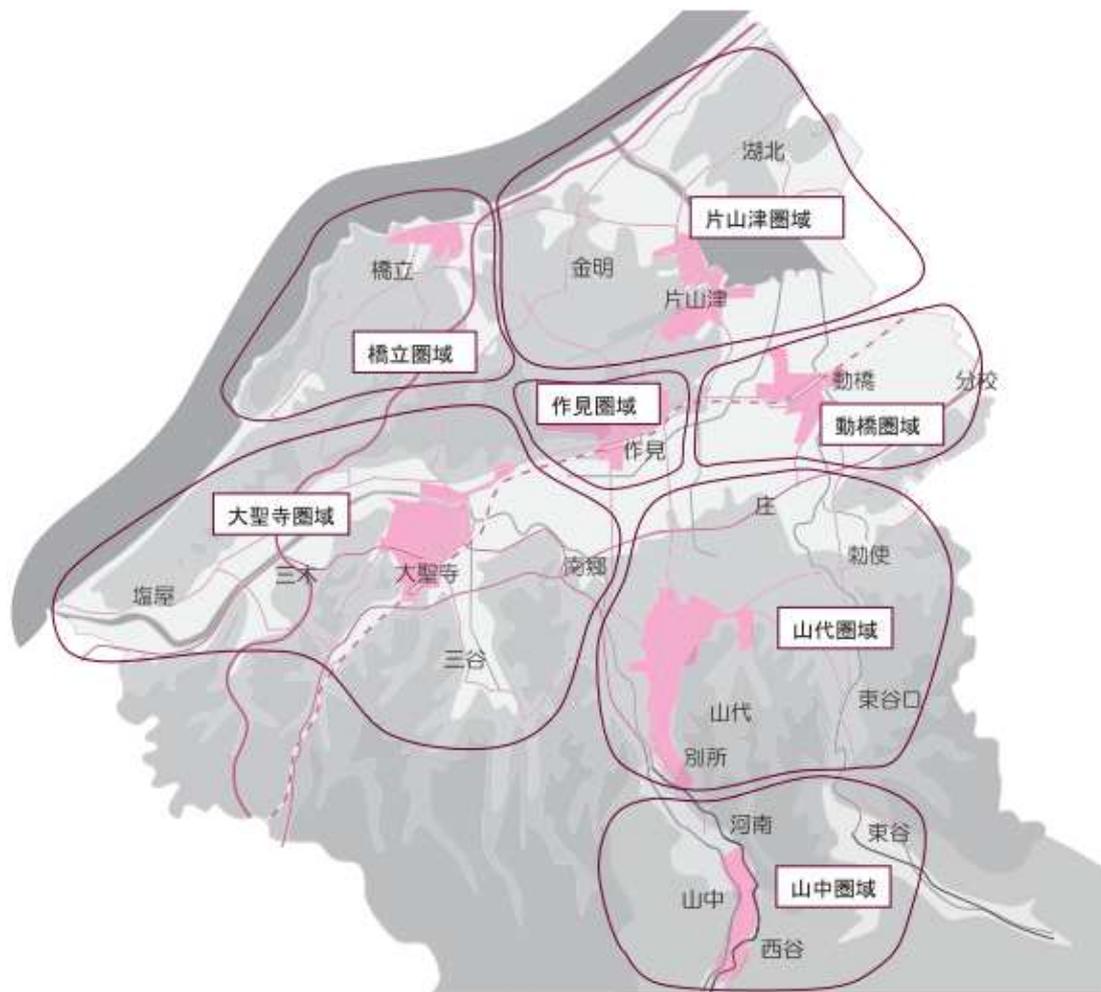
■ 日常生活圏域

加賀市の7つの日常生活圏域「大聖寺／山代／片山津／橋立／動橋／作見／山中」に基づき、圏域別クロス集計結果のうち、特徴的なものをまとめています。なお、圏域と地区の関係は以下の通りです。

日常生活圏域地区区分

圏域	地区名
大聖寺圏域	大聖寺地区・南郷地区・三谷地区・三木地区・塩屋地区
山代圏域	山代地区・勅使地区・東谷口地区・庄地区・別所地区
片山津圏域	片山津地区・金明地区・湖北地区
橋立圏域	橋立地区
動橋圏域	動橋地区・分校地区
作見圏域	作見地区
山中圏域	山中地区・河南地区・西谷地区・東谷地区

(日常生活圏域図)



(引用：第6期高齢者お達者プラン)

■ 圏域別クロス集計結果

① 回答者の属性

問 1-2 回答者の性別 / 問 1-3 回答者の年齢

回答者において、山中圏域での男性の割合が**36.4%**で最も低く、女性の割合が**57.3%**と最も高い結果となっています。一方、動橋圏域が男性**46.2%**で男性の割合が最も高くなっています。

年齢構成についてみると、動橋圏域および作見圏域において**60歳台**の高齢者が約半数と他圏域に比べて高い割合となっています。一方、山中圏域および片山津圏域では、**70歳台**と**80歳以上**の占める割合が高く、比較的高齢層が多いことがうかがえます。

	性別			年齢		
	男性	女性	無回答	60～69歳	70～79歳	80歳以上
大聖寺圏域 (n=480)	42.3%	52.9%	4.8%	43.3%	36.0%	19.6%
山代圏域 (n=434)	43.3%	50.7%	6.0%	45.4%	32.0%	20.3%
片山津圏域 (n=382)	38.0%	54.2%	7.9%	41.4%	34.8%	22.0%
橋立圏域 (n=347)	44.1%	48.4%	7.5%	44.4%	32.9%	21.0%
動橋圏域 (n=409)	46.2%	49.1%	4.6%	49.6%	33.5%	15.9%
作見圏域 (n=385)	41.0%	55.3%	3.6%	48.6%	32.2%	17.9%
山中圏域 (n=450)	36.4%	57.3%	6.2%	38.7%	38.2%	21.3%

問 1-5 回答者の居住形態

橋立圏域では、「一戸建て（持家）」の割合が**98.0%**と最も高く、動橋圏域、大聖寺圏域においても**95%**を超えて高い割合を占めています。一方、片山津圏域および山中圏域では**90%**を下回っており、山中圏域では市営・県営住宅が**4.0%**と他圏域に比べてやや高くなっています。

また、賃貸アパート・マンションは片山津圏域および作見圏域、山代圏域で**5%**を上回っており、他圏域に比べてやや高い傾向がみられます。

	居住形態								
	一戸建て (持家)	一戸建て (借家)	分譲マン ション	賃貸アパー ト・マン ション	市営住宅・ 県営住宅	社宅・官舎 (寮)	老人ホーム・ ケアハウス	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	95.4%	1.5%	0.0%	1.0%	1.5%	0.0%	0.4%	0.2%	0.0%
山代圏域 (n=434)	92.2%	1.4%	0.0%	5.1%	0.9%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%
片山津圏域 (n=382)	86.6%	2.6%	0.0%	6.8%	2.1%	0.3%	0.0%	1.0%	0.5%
橋立圏域 (n=347)	98.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
動橋圏域 (n=409)	96.1%	1.0%	0.0%	1.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%
作見圏域 (n=385)	91.2%	2.6%	0.0%	5.2%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.5%
山中圏域 (n=450)	89.3%	2.7%	0.0%	2.7%	4.0%	0.2%	0.4%	0.4%	0.2%

問 1-6 回答者の世帯構成

「一人暮らし」の占める割合は片山津圏域で**24.3%**と最も高く、大聖寺圏域が**9.0%**で最も低くなっており、圏域によって差がみられます。また、「夫婦世帯」についてみると、大聖寺・山代・動橋圏域で高く、片山津・橋立圏域で低い傾向がみられます。橋立圏域では子供世帯や三世代以上との同居の占める割合が高い結果となっています。

	一人暮らし	夫婦世帯	子供世帯と同居	親と同居	三世代以上の同居	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	9.0%	38.3%	28.1%	9.6%	9.4%	2.9%	2.7%
山代圏域 (n=434)	11.1%	38.0%	23.3%	8.5%	11.8%	4.4%	3.0%
片山津圏域 (n=382)	24.3%	29.1%	23.3%	6.3%	9.9%	3.4%	3.7%
橋立圏域 (n=347)	14.1%	29.4%	31.7%	5.5%	12.7%	3.7%	2.9%
動橋圏域 (n=409)	11.7%	37.7%	24.2%	7.6%	12.5%	2.4%	3.9%
作見圏域 (n=385)	19.5%	32.5%	30.6%	3.9%	7.0%	3.6%	2.9%
山中圏域 (n=450)	17.3%	34.0%	25.6%	6.9%	8.9%	2.7%	4.7%

問 1-7 普段の日常生活活動 <複数回答>

「仕事」と回答した者は山中圏域が**38.2%**で最も高く、大聖寺圏域が**26.5%**で最も低くなっており、「趣味・娯楽」では大聖寺・作見・動橋圏域で**25%**程度とやや高く、山中圏域が**16.2%**で最も低い結果となっています。その他、「農作業」は橋立・動橋圏域で高く、「インターネット・メール」は作見圏域で最も高くなっており、日常生活における地域の特性や高齢者のIT活用の地域差がうかがえます。

	テレビ・ラジオ、新聞・雑誌など	インターネット・メール	家族とのだんらん、孫の世話	趣味・娯楽	仲間と集まりおしゃべりをする	軽い運動やスポーツ	軽食・ショッピング	ドライブ、日帰りの行楽
大聖寺圏域 (n=480)	67.5%	7.3%	10.8%	25.0%	10.0%	20.2%	11.5%	5.2%
山代圏域 (n=434)	65.7%	4.8%	8.8%	18.9%	10.6%	19.1%	10.6%	4.6%
片山津圏域 (n=382)	64.1%	5.5%	7.3%	18.1%	12.3%	17.8%	11.0%	5.2%
橋立圏域 (n=347)	67.1%	4.3%	12.7%	19.3%	13.5%	16.1%	10.4%	6.1%
動橋圏域 (n=409)	64.3%	7.1%	10.5%	23.2%	9.3%	21.0%	13.4%	4.6%
作見圏域 (n=385)	69.1%	10.4%	11.4%	24.7%	10.1%	22.3%	14.8%	6.0%
山中圏域 (n=450)	70.4%	6.0%	8.9%	16.2%	11.3%	18.0%	14.2%	5.1%

	地域社会のための活動	学習活動	家事	仕事	田や畑などの農作業	何もせずのんびりする	その他
大聖寺圏域 (n=480)	6.5%	1.5%	44.8%	26.5%	21.0%	6.9%	6.9%
山代圏域 (n=434)	6.9%	0.9%	42.2%	32.3%	22.6%	6.9%	7.1%
片山津圏域 (n=382)	7.6%	1.0%	37.7%	31.9%	25.1%	7.6%	7.1%
橋立圏域 (n=347)	7.8%	0.9%	37.8%	29.7%	33.4%	7.5%	5.8%
動橋圏域 (n=409)	7.3%	1.7%	40.3%	29.8%	27.6%	8.1%	5.4%
作見圏域 (n=385)	7.3%	2.3%	40.5%	28.6%	16.9%	5.7%	7.0%
山中圏域 (n=450)	6.4%	0.9%	43.6%	38.2%	17.6%	8.9%	5.1%

② 地域活動や健康維持について

問2-1 現在の職業

「自営業」と回答した者の割合は山中圏域が **20.4%**で最も高く、次いで山代圏域が高くなっています。一方、作見圏域が **7.0%**で最も低い結果となっています。「会社・公務員」では作見圏域が **12.2%**で最も高く、動橋圏域が次に高い結果となっています。

また、「農業・漁業」については橋立圏域が **13.3%**で最も高い結果となっています。「特にない」と回答した者は大聖寺圏域が **60.0%**で最も高く、山中圏域で **46.4%**と圏域により差がみられます。

	自営業	会社員・公務員	パート・アルバイト	農業・漁業	特にない	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	10.2%	9.6%	12.9%	5.0%	60.0%	2.3%
山代圏域 (n=434)	17.3%	9.4%	11.3%	7.6%	52.3%	2.1%
片山津圏域 (n=382)	12.3%	7.3%	18.3%	9.4%	50.8%	1.8%
橋立圏域 (n=347)	10.7%	8.4%	15.9%	13.3%	49.6%	2.3%
動橋圏域 (n=409)	12.0%	10.8%	17.1%	8.1%	50.6%	1.5%
作見圏域 (n=385)	7.0%	12.2%	17.7%	3.1%	57.7%	2.3%
山中圏域 (n=450)	20.4%	8.9%	19.1%	2.0%	46.4%	3.1%

問2-2 仕事の継続意向（何歳まで仕事をしたいか）

何歳まで働きたいかについて圏域別にみると、作見・大聖寺圏域では **65歳**、**70歳**の占める割合が他圏域に比べて高く、比較的若いうちまでと考えている者が多い傾向がみられます。対照的に、山中・山代・橋立圏域では高齢になっても働きたい意向が強い傾向がみられます。

	65歳	70歳	75歳	80歳	働けるうちはいつまでも	無回答
大聖寺圏域 (n=181)	17.1%	22.7%	11.0%	6.6%	38.7%	3.9%
山代圏域 (n=198)	10.1%	23.7%	12.1%	4.5%	48.5%	1.0%
片山津圏域 (n=181)	9.9%	23.8%	16.0%	3.3%	44.8%	2.2%
橋立圏域 (n=167)	9.0%	20.4%	10.2%	8.4%	47.9%	4.2%
動橋圏域 (n=196)	13.8%	21.4%	11.7%	3.6%	46.9%	2.6%
作見圏域 (n=154)	15.6%	31.8%	9.7%	7.1%	33.1%	2.6%
山中圏域 (n=227)	8.4%	13.7%	16.7%	7.9%	49.8%	3.5%

問3-1 地域活動の参加意向 <複数回答>

地域活動への参加意向は大聖寺圏域で高い傾向がみられ、「祭りなどの町内会行事の世話等」、「体操やゲートボール等の世話等」、「郷土芸能の伝承などの教育文化活動」、「介護施設等のボランティア」において他圏域に比べて高い割合となっています。また、動橋圏域では「家事支援等の高齢者支援」、「保育への手伝いなどの子育て支援」といった子供・高齢者支援活動への参加意向が高い傾向がうかがえます。橋立圏域では「地区のまちづくり」活動が他圏域の中で最も高い一方、「参加したい活動はない」と回答した者が**39.5%**で最も高い結果となっています。

	家事支援等の高齢者支援	保育への手伝い等の子育て支援	祭りなどの町内会行事の世話等	地区のまちづくり活動	体操やゲートボール等の世話等
大聖寺圏域 (n=480)	6.0%	7.1%	16.0%	22.9%	8.8%
山代圏域 (n=434)	7.1%	5.5%	12.9%	23.0%	6.9%
片山津圏域 (n=382)	6.5%	4.7%	11.0%	22.3%	8.1%
橋立圏域 (n=347)	8.4%	6.3%	10.4%	26.8%	6.6%
動橋圏域 (n=409)	8.6%	8.8%	12.7%	23.7%	5.1%
作見圏域 (n=385)	7.3%	6.8%	9.6%	20.8%	6.5%
山中圏域 (n=450)	6.9%	6.0%	12.9%	20.0%	5.1%

	郷土芸能の伝承等の教育文化活動	介護施設等のボランティア	その他	参加したい活動はない	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	6.9%	10.2%	6.3%	34.4%	10.6%
山代圏域 (n=434)	6.2%	8.3%	7.4%	34.1%	12.9%
片山津圏域 (n=382)	6.0%	6.8%	8.1%	37.7%	12.3%
橋立圏域 (n=347)	5.2%	8.1%	6.1%	39.5%	9.5%
動橋圏域 (n=409)	5.4%	6.6%	7.6%	34.2%	10.0%
作見圏域 (n=385)	5.7%	9.4%	7.8%	38.2%	11.2%
山中圏域 (n=450)	5.8%	9.3%	6.9%	35.8%	12.4%

問3-2 地域活動に参加したい理由 <複数回答>

参加したい理由として、「生活に充実感を持ちたいから」と回答した者の割合は作見・大聖寺圏域で高く、「健康や体力に自信をつけたいから」と回答した者は橋立圏域で高い結果となっています。

	生活に充実感を持ちたいから	自分の技術・経験を活かしたい	新しい友人を得たい	社会への見方を広めたい	健康や体力に自信をつけたい
大聖寺圏域 (n=269)	31.6%	15.2%	10.0%	8.9%	23.8%
山代圏域 (n=235)	27.7%	14.0%	11.1%	12.8%	26.4%
片山津圏域 (n=198)	27.8%	11.1%	14.1%	16.2%	28.3%
橋立圏域 (n=185)	25.9%	15.7%	10.3%	14.1%	31.9%
動橋圏域 (n=234)	29.5%	16.7%	7.7%	8.5%	20.1%
作見圏域 (n=203)	34.0%	16.3%	13.3%	16.3%	27.6%
山中圏域 (n=241)	23.7%	12.9%	9.1%	12.9%	24.9%

	お互いに助け合うことが大切だから	地域社会に貢献したい	わからない	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=269)	48.3%	33.1%	1.5%	3.3%	7.4%
山代圏域 (n=235)	48.9%	31.1%	0.9%	1.7%	6.8%
片山津圏域 (n=198)	44.4%	28.8%	2.5%	3.0%	9.1%
橋立圏域 (n=185)	50.3%	30.3%	1.6%	2.7%	6.5%
動橋圏域 (n=234)	42.7%	34.6%	1.3%	1.7%	6.0%
作見圏域 (n=203)	44.8%	32.0%	2.0%	2.0%	6.9%
山中圏域 (n=241)	45.6%	35.7%	1.2%	1.7%	10.4%

問 3-3 地域活動の報酬について

地域活動に対する報酬として、「謝礼や報酬は必要ない」と回答した者が大聖寺圏域で**29.4%**と最も高く、「必要経費に加え、日当程度は必要」と回答した者は動橋圏域で**7.8%**と最も高い結果となっています。

	謝礼や報酬は必要ない	交通費などの実費くらいは必要	交通費などの実費くらいは必要実費に加え、日当程度は必要	わからない	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	29.4%	24.6%	4.6%	11.7%	1.3%	28.5%
山代圏域 (n=434)	27.2%	22.8%	7.1%	10.1%	1.4%	31.3%
片山津圏域 (n=382)	23.3%	22.0%	6.3%	16.0%	3.1%	29.3%
橋立圏域 (n=347)	28.5%	22.8%	2.9%	15.9%	1.4%	28.5%
動橋圏域 (n=409)	25.7%	25.7%	7.8%	11.0%	1.7%	28.1%
作見圏域 (n=385)	26.0%	25.5%	3.9%	12.7%	1.3%	30.6%
山中圏域 (n=450)	23.8%	22.9%	5.6%	15.6%	2.4%	29.8%

問 4 近所の人との付き合い程度

近所での付き合いに関して、「困った時の助け合いや親しい付き合い」をしているのは、橋立圏域、大聖寺圏域で高い傾向がみられます。一方で、作見圏域では「あいさつ・立ち話程度」の付き合いが他圏域と比べ高い傾向がみられます。また、片山津圏域では、「付き合いはほとんどない」と回答した者が**5.0%**で他圏域と比べてやや高い結果となっています。

	困った時に助け合ったりする	親しく付き合っている	あいさつをする程度	立ち話をする程度	付き合いはほとんどない	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	16.5%	26.3%	27.1%	26.7%	3.1%	0.4%
山代圏域 (n=434)	11.8%	24.9%	31.8%	27.9%	2.8%	0.9%
片山津圏域 (n=382)	13.1%	27.5%	29.6%	23.8%	5.0%	1.0%
橋立圏域 (n=347)	16.7%	27.4%	21.6%	32.0%	2.0%	0.3%
動橋圏域 (n=409)	12.0%	24.9%	31.1%	28.9%	2.7%	0.5%
作見圏域 (n=385)	13.5%	14.3%	39.0%	29.9%	3.1%	0.3%
山中圏域 (n=450)	12.4%	28.0%	27.3%	29.6%	2.2%	0.4%

	助け合い・親しい付き合い	あいさつ・立ち話程度
大聖寺圏域 (n=480)	42.7%	53.8%
山代圏域 (n=434)	36.6%	59.7%
片山津圏域 (n=382)	40.6%	53.4%
橋立圏域 (n=347)	44.1%	53.6%
動橋圏域 (n=409)	36.9%	59.9%
作見圏域 (n=385)	27.8%	68.8%
山中圏域 (n=450)	40.4%	56.9%

問5 日常生活などでの困りごとの相談相手 <複数回答>

日常生活の相談相手として、大聖寺地区では「友人・知人」や「近所の人」の割合が他圏域に比べて高く、山代圏域では「民生委員」や「市役所」の割合がやや高くなっています。その他、動橋圏域では「家族・親戚」の割合が他圏域の中で最も高く、橋立圏域では「区長・町内の役員」の割合が高い傾向がみられます。また、片山津圏域では「相談できる人がいない」の割合が他圏域と比べてやや高い結果となっています。

	家族・親戚	友人・知人	近所の人	民生委員	区長・町内の役員
大聖寺圏域 (n=480)	74.0%	29.6%	8.8%	2.3%	3.5%
山代圏域 (n=434)	75.3%	25.8%	6.7%	2.8%	2.8%
片山津圏域 (n=382)	71.7%	28.8%	3.4%	1.6%	4.5%
橋立圏域 (n=347)	77.5%	27.4%	4.9%	1.4%	5.2%
動橋圏域 (n=409)	78.2%	27.9%	5.6%	1.7%	2.4%
作見圏域 (n=385)	77.4%	26.2%	6.0%	1.3%	1.3%
山中圏域 (n=450)	72.9%	28.7%	6.2%	2.4%	1.6%

	市役所	わからない	相談できる人がいない	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	5.0%	3.1%	1.7%	2.3%	0.2%
山代圏域 (n=434)	6.0%	2.3%	2.3%	2.5%	0.9%
片山津圏域 (n=382)	3.7%	3.4%	3.1%	2.4%	0.5%
橋立圏域 (n=347)	1.2%	1.4%	1.2%	1.7%	1.2%
動橋圏域 (n=409)	2.0%	2.2%	1.7%	3.4%	0.7%
作見圏域 (n=385)	4.7%	2.9%	2.9%	3.6%	1.3%
山中圏域 (n=450)	3.6%	1.3%	2.2%	2.4%	1.3%

問6 近所や町内会における行動についての自身の考え

本設問に関して、各圏域で「はい」と回答した者の割合に着目すると、大聖寺圏域および動橋圏域は他圏域に比べて「はい」と回答した者の割合が総じて高くなっており、近所の交流や活動に積極的であることがうかがえます。一方で、山代・片山津・山中圏域では他圏域より低く消極的である傾向がみられ、地域によって近所や町内会での交流や活動への意欲、姿勢に違いが見受けられます。

	身体の具合が悪そうな人を見かけたら声をかける	近所の高齢者の顔を2、3日見ないときは状況確認したり、町の役員に知らせる	近所の高齢者の買い物やごみ出しなどを手助けする	高齢者に地域だよりなどの案内をするときは、ひと声かけて渡す
大聖寺圏域 (n=480)	87.1%	52.7%	41.3%	65.8%
山代圏域 (n=434)	87.8%	51.8%	36.6%	57.1%
片山津圏域 (n=382)	83.0%	46.9%	37.7%	59.4%
橋立圏域 (n=347)	86.5%	51.3%	34.9%	64.3%
動橋圏域 (n=409)	91.2%	53.1%	39.1%	64.5%
作見圏域 (n=385)	85.7%	44.4%	34.5%	59.5%
山中圏域 (n=450)	85.3%	48.7%	35.1%	59.6%

	近所で見知らぬ高齢者を見かけたら声をかける	近所の高齢者の困りごとなどの話し合いの場に誘われたら参加する	町内会・自治会の行事に参加する
大聖寺圏域 (n=480)	42.9%	67.9%	74.6%
山代圏域 (n=434)	40.1%	58.5%	60.4%
片山津圏域 (n=382)	41.9%	59.4%	59.4%
橋立圏域 (n=347)	49.9%	68.3%	72.0%
動橋圏域 (n=409)	48.7%	63.8%	72.1%
作見圏域 (n=385)	42.9%	58.4%	66.0%
山中圏域 (n=450)	45.1%	60.2%	63.8%

	地域のイベントに参加するときは、隣近所の人を誘う	自分ができるボランティア活動があれば参加する	老人会の活動に参加する
大聖寺圏域 (n=480)	52.5%	62.9%	51.5%
山代圏域 (n=434)	46.1%	60.6%	37.1%
片山津圏域 (n=382)	46.9%	60.5%	44.8%
橋立圏域 (n=347)	51.6%	66.0%	47.6%
動橋圏域 (n=409)	51.8%	69.4%	57.7%
作見圏域 (n=385)	46.2%	65.7%	43.9%
山中圏域 (n=450)	45.8%	63.3%	35.1%

問7 ボランティアポイント制度について

ボランティアポイント制度についての認知度に関して、大聖寺圏域で「知っている」と回答した者の割合が**15.8%**で最も高くなっています。一方で、片山津圏域および山代圏域での認知度はやや低い傾向がみられます。

ボランティア制度への参加意向では、「参加したい」と回答した者は作見圏域が**27.5%**で最も高く、「参加したくない」が大聖寺圏域の**63.3%**で最も高い結果となっています。また、「すでに参加している」と回答した者は山代圏域が**3.9%**で最も高くなっています。

制度に参加したくない理由として、「制度の内容・仕組みがよくわからないから」と回答した者が作見・山中圏域で**35%**程度と高く、山代圏域で**23.3%**と最も低い結果となっており圏域によって差がみられます。

問7-1 ボランティアポイント制度の認知度

		知っている	知らない	無回答
大聖寺圏域	(n=480)	15.8%	81.5%	2.7%
山代圏域	(n=434)	10.8%	85.5%	3.7%
片山津圏域	(n=382)	8.9%	86.6%	4.5%
橋立圏域	(n=347)	11.8%	83.0%	5.2%
動橋圏域	(n=409)	12.5%	84.1%	3.4%
作見圏域	(n=385)	11.4%	85.5%	3.1%
山中圏域	(n=450)	12.2%	83.3%	4.4%

問7-2 ボランティアポイント制度利用によるボランティア制度への参加意向

		参加したい	参加したくない	すでに参加している	無回答
大聖寺圏域	(n=480)	24.2%	63.3%	2.7%	9.8%
山代圏域	(n=434)	24.2%	59.4%	3.9%	12.4%
片山津圏域	(n=382)	25.7%	62.0%	1.6%	10.7%
橋立圏域	(n=347)	24.8%	59.7%	2.9%	12.7%
動橋圏域	(n=409)	26.7%	59.4%	2.0%	12.0%
作見圏域	(n=385)	27.5%	60.5%	2.1%	9.9%
山中圏域	(n=450)	24.4%	60.7%	2.2%	12.7%

問7-3 ボランティア制度を利用してボランティアに参加したくない理由 <複数回答>

		忙しいから	知っている人がいないから	制度の内容がよくわからないから	制度の仕組みがよくわからないから	興味がないから	ポイントを貰うために参加していると思われ	参加したいボランティアがないから	その他	無回答
大聖寺圏域	(n=304)	33.2%	8.6%	17.8%	11.8%	15.8%	8.6%	3.6%	23.0%	2.6%
山代圏域	(n=258)	33.3%	11.6%	15.1%	8.1%	16.3%	7.0%	3.1%	22.1%	3.1%
片山津圏域	(n=237)	31.2%	10.5%	20.7%	10.1%	13.1%	7.2%	5.1%	26.6%	2.1%
橋立圏域	(n=207)	27.5%	5.8%	16.4%	11.6%	20.8%	8.7%	5.8%	17.4%	2.9%
動橋圏域	(n=243)	33.3%	10.7%	18.5%	10.7%	14.0%	8.6%	7.4%	19.3%	0.4%
作見圏域	(n=233)	26.6%	14.2%	20.2%	15.0%	16.3%	7.7%	6.4%	20.6%	1.7%
山中圏域	(n=273)	34.8%	8.8%	23.8%	11.7%	12.8%	6.6%	4.4%	20.1%	3.3%

問 8 健康維持のための活動について

健康維持のための取り組みにおいて圏域差がみられる活動として、「仕事」と回答した者の割合は大聖寺圏域で 17.7%と最も低く、山中圏域で 30.4%と最も高くなっています。また、「田や畑などの農作業」においても、山中・作見圏域では 18%程度で低く、橋立圏域では 35.7%で最も高くなっています。

取り組んだきっかけとしては、「以前の習慣から」と回答した者の割合が山中圏域で 43.5%と最も高く、片山津圏域が 32.7%で最も低く圏域差がみられます。

問 8-1 健康維持のための取り組み <複数回答>

	健康的な食事	軽い運動やスポーツ	パズルや脳トレなど頭を使うこと	定期健診・定期的な受診	旅行	地域や社会のための活動
大聖寺圏域 (n=480)	42.1%	42.7%	17.3%	43.5%	7.5%	6.5%
山代圏域 (n=434)	44.0%	40.6%	15.7%	38.2%	9.9%	5.8%
片山津圏域 (n=382)	40.6%	34.0%	13.4%	42.4%	10.5%	6.0%
橋立圏域 (n=347)	39.2%	34.6%	13.8%	44.4%	7.8%	6.1%
動橋圏域 (n=409)	41.1%	41.8%	16.9%	44.7%	7.1%	3.9%
作見圏域 (n=385)	47.5%	43.9%	17.9%	44.7%	8.3%	3.9%
山中圏域 (n=450)	40.7%	37.1%	18.7%	41.1%	10.7%	6.0%

	家事	仕事	田や畑などの農作業	その他	特になし	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	33.3%	17.7%	21.3%	4.0%	7.9%	1.5%
山代圏域 (n=434)	31.3%	22.4%	25.3%	4.8%	6.7%	1.4%
片山津圏域 (n=382)	36.9%	25.1%	23.0%	2.9%	9.4%	1.8%
橋立圏域 (n=347)	34.0%	25.1%	35.7%	5.2%	6.9%	0.6%
動橋圏域 (n=409)	34.0%	21.3%	28.1%	4.4%	5.6%	0.7%
作見圏域 (n=385)	34.0%	23.6%	18.4%	4.4%	5.5%	1.8%
山中圏域 (n=450)	36.2%	30.4%	18.0%	4.4%	8.0%	1.3%

問 8-2 健康維持のために取り組んだ理由 <複数回答>

	家族・親戚からのすすめ	友人・知人からのすすめ	近所の人からのすすめ	市の広報や回覧板などの情報	医師等の専門家からの指導や助言
大聖寺圏域 (n=450)	17.8%	19.8%	2.0%	10.0%	20.2%
山代圏域 (n=410)	19.3%	17.1%	2.7%	8.0%	18.8%
片山津圏域 (n=352)	13.4%	15.1%	1.7%	6.0%	19.9%
橋立圏域 (n=329)	15.5%	18.2%	0.9%	7.6%	21.9%
動橋圏域 (n=391)	18.2%	13.3%	1.5%	6.9%	21.2%
作見圏域 (n=364)	15.7%	17.0%	1.4%	8.2%	20.6%
山中圏域 (n=421)	13.1%	13.8%	2.6%	9.7%	20.4%

	具体的に症状が現れたため	健康診断等の結果を見て	新聞・テレビ等の情報	以前からの習慣	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=450)	13.3%	23.8%	17.8%	35.3%	4.4%	11.6%
山代圏域 (n=410)	15.6%	23.7%	18.0%	34.6%	6.6%	9.8%
片山津圏域 (n=352)	16.5%	22.4%	17.3%	32.7%	6.3%	14.2%
橋立圏域 (n=329)	17.3%	24.0%	14.0%	35.3%	7.3%	9.4%
動橋圏域 (n=391)	13.6%	26.6%	22.3%	39.9%	9.0%	7.9%
作見圏域 (n=364)	13.7%	23.9%	19.2%	38.7%	6.9%	10.7%
山中圏域 (n=421)	14.0%	20.2%	18.1%	43.5%	4.5%	11.9%

問9 健康維持のために地域で必要な取り組み <複数回答>

健康維持のために必要な取り組みにおいて圏域差がみられるものは、「生活習慣病などの健康に関する講座」が橋立圏域で**39.6%**と最も高く、山中・大聖寺・片山津圏域でやや低い結果となっています。また、「地域サロン等、高齢者が気軽に集まれる場の提供」が大聖寺・橋立・動橋圏域でやや高く、片山津圏域では最も低い結果となっています。その他、「畑・家庭菜園などの作業の指導」では、橋立・動橋圏域で高い結果となっています。

	生活習慣病予防などの健康に関する講座	知識や経験、趣味を活かした就労などの支援	知識や経験、趣味を活かしたボランティア活動の充実	認知症予防・筋トレ等の介護予防講座の実施	スポーツ・趣味サークル等の立ち上げ支援	地域サロン等、高齢者が気軽に集まれる場の充実
大聖寺圏域 (n=480)	31.9%	12.7%	11.3%	33.1%	21.5%	34.0%
山代圏域 (n=434)	34.3%	12.7%	13.4%	29.3%	20.5%	30.6%
片山津圏域 (n=382)	32.2%	14.4%	11.5%	27.2%	14.7%	23.6%
橋立圏域 (n=347)	36.0%	13.0%	10.4%	27.4%	14.1%	34.0%
動橋圏域 (n=409)	39.6%	13.2%	11.7%	32.0%	17.8%	33.0%
作見圏域 (n=385)	36.1%	16.1%	11.9%	32.7%	19.7%	28.3%
山中圏域 (n=450)	30.9%	13.8%	11.3%	32.7%	15.8%	28.0%

	料理教室や家事教室などの生活支援に関する充実	畑・家庭菜園などの作業の指導	祭りや学校行事等への協力・手伝い	本選択肢の取り組み活動を紹介してくれる窓口の設置	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	7.5%	11.9%	6.9%	11.7%	4.4%	14.0%
山代圏域 (n=434)	8.8%	13.6%	6.7%	12.9%	1.8%	15.7%
片山津圏域 (n=382)	7.1%	12.8%	4.7%	11.8%	5.8%	17.8%
橋立圏域 (n=347)	8.1%	19.9%	8.1%	11.0%	3.7%	13.8%
動橋圏域 (n=409)	8.3%	17.4%	8.1%	13.0%	4.2%	12.7%
作見圏域 (n=385)	9.1%	13.8%	4.4%	14.3%	4.4%	13.0%
山中圏域 (n=450)	7.1%	12.2%	5.3%	12.7%	5.6%	15.8%

③ 認知症について

問10 認知症について知っていること <複数回答>

作見・山中圏域では他圏域に比べて知っていることとしての割合が高い項目が比較的多く、認知症についてのリスクや認知度が高い傾向がうかがえます。対照的に、橋立圏域では、「周囲や家族に負担が大きい」、「残された能力を活かし、その人らしく生活することは可能」の項目において割合が最も低く、認知症に対する認識やリスクが低いことが示唆されます。また、大聖寺・山代圏域では、「周囲や家族に負担が大きい」と感じている者が他圏域に比べて高い結果となっています。

	認知症は病気である	高齢者でなくても発症する可能性がある	早期発見・治療で進行を遅らせることができる	何もかもわからなくなってしまう訳ではなく、感情やプライドは保たれている	関わり方次第で症状が落ち着く可能性がある	身内だけでなく自分も忘れてしまう	外出して戻れなくなる
大聖寺圏域 (n=480)	52.9%	82.5%	70.2%	39.8%	44.4%	41.0%	62.7%
山代圏域 (n=434)	51.8%	79.7%	68.9%	43.3%	44.2%	41.7%	61.8%
片山津圏域 (n=382)	49.5%	80.4%	69.4%	35.9%	43.2%	36.9%	57.9%
橋立圏域 (n=347)	48.7%	79.0%	66.0%	36.9%	41.8%	41.5%	60.8%
動橋圏域 (n=409)	52.3%	84.6%	68.2%	35.2%	45.0%	41.3%	65.0%
作見圏域 (n=385)	52.2%	86.2%	70.9%	39.7%	50.9%	44.9%	62.6%
山中圏域 (n=450)	49.6%	86.2%	70.2%	39.1%	45.3%	43.6%	59.1%

	頑固になったり以前と違った性格になる	目が離せず、周囲や家族に負担が大きい	残された能力を活かし、その人らしく生活することは可能である	様々な症状があるので、一様には言えない	何も知らない	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	40.2%	64.4%	24.4%	50.6%	2.3%	0.4%	1.9%
山代圏域 (n=434)	45.2%	65.0%	26.5%	52.1%	0.9%	1.2%	2.5%
片山津圏域 (n=382)	39.5%	61.3%	26.7%	49.5%	2.6%	2.4%	3.4%
橋立圏域 (n=347)	39.5%	55.9%	22.8%	49.6%	2.3%	1.4%	2.6%
動橋圏域 (n=409)	44.5%	64.1%	26.2%	48.4%	0.7%	1.0%	1.7%
作見圏域 (n=385)	47.5%	63.9%	31.7%	44.4%	1.0%	1.8%	2.6%
山中圏域 (n=450)	42.0%	62.7%	29.8%	53.8%	0.9%	2.2%	3.1%

問 11 認知症についての相談相手

回答順位で重みづけし、各圏域の回答者母数を調整した指標化に基づき（p.1 電算処理について参照）圏域別に比較すると、橋立・動橋圏域では「家族」、「親戚や知人」を相談相手とする者が比較的高く、対照的に「かかりつけ医の主治医」、「認知用専門の医療機関」は低い傾向がみられます。一方、作見圏域では、「かかりつけ医の主治医」、「認知用専門の医療機関」が比較的高い傾向がみられます。その他、「介護サービス事業所」の相談は山中圏域で比較的高く、「市役所」は大聖寺圏域、「民生委員」は動橋・山中圏域で高い傾向がみられます。片山津圏域では他圏域と比べて総じて相談相手として回答する傾向が低いことがうかがえます。

	かかりつけ医の主治医	認知症専門の医療機関	家族	親戚や知人	介護サービス事業所
大聖寺圏域 (n=480)	133.1	87.7	125.4	27.7	37.7
山代圏域 (n=434)	133.6	85.0	135.0	27.6	37.1
片山津圏域 (n=382)	118.8	75.7	130.1	27.7	22.0
橋立圏域 (n=347)	116.1	79.8	150.1	31.1	24.2
動橋圏域 (n=409)	135.0	77.5	145.7	29.6	34.7
作見圏域 (n=385)	143.6	90.4	140.8	27.3	25.5
山中圏域 (n=450)	135.1	85.8	132.2	27.3	40.2

	市役所	民生委員	わからない	その他	知られたくないので相談しない
大聖寺圏域 (n=480)	57.7	5.4	2.3	53.5	0.6
山代圏域 (n=434)	53.0	7.1	3.2	54.1	0.2
片山津圏域 (n=382)	54.7	5.8	3.4	72.3	0.3
橋立圏域 (n=347)	54.5	6.9	4.6	57.1	0.6
動橋圏域 (n=409)	46.7	9.3	3.4	50.9	1.5
作見圏域 (n=385)	48.8	4.9	2.9	53.2	0.3
山中圏域 (n=450)	48.0	8.7	4.0	52.0	1.1

問 12 認知症のための充実すべき施策 <複数回答>

認知症のための充実すべき施策として、「かかりつけ医による、認知症や物忘れ相談体制の充実」は作見・動橋圏域で他の圏域より高く、「認知症サポート医の充実」や「24時間365日対応できる介護サービスの充実」、「かかりつけ医と専門医の連携」など作見圏域において、他圏域の中で最も高い結果となる項目が多く、認知症サービスのニーズ需要が高いことがうかがえます。その他、「介護・福祉・医療の情報提供のしくみづくり」や「認知症になった時に、周囲にわかってもらえるよう予め書き留めておく」では、山中圏域で最も高い結果となっています。

	かかりつけ医による、認知症や物忘れ相談体制の充実	認知症サポート医の充実	認知症を正しく理解し、温かく見守る支援者を増やす取り組みの充実	24時間365日対応できる介護サービスの充実	24時間365日対応できる医療サービスの充実	介護・福祉・医療の情報提供のしくみづくり	かかりつけ医と専門医の連携	家族が気軽に集まったり相談できる場の設置
大聖寺圏域 (n=480)	45.6%	40.2%	40.4%	40.2%	39.4%	18.3%	30.0%	20.6%
山代圏域 (n=434)	42.6%	41.9%	41.2%	38.7%	39.4%	20.5%	32.9%	19.1%
片山津圏域 (n=382)	39.0%	32.5%	40.3%	37.2%	35.1%	18.3%	31.2%	15.7%
橋立圏域 (n=347)	40.9%	32.6%	39.8%	38.6%	36.9%	16.1%	28.5%	19.6%
動橋圏域 (n=409)	52.1%	36.2%	39.9%	37.7%	39.1%	20.0%	28.4%	18.6%
作見圏域 (n=385)	52.2%	44.2%	39.0%	41.8%	42.9%	17.1%	35.1%	21.6%
山中圏域 (n=450)	42.9%	36.4%	41.6%	39.8%	40.2%	23.8%	28.0%	17.8%

	本人の就労や生きがい支援	住民相互の助け合いを支援するしくみづくり	認知症時に周囲に自身をわかってもらえるように、予め書き留めておくことに対する支援	一時的に在宅介護が困難で、医療的管理が必要な方の短期間入院の受け入れ	行方不明者を検索するためのネットワークづくりや捜索訓練	当事者（認知症本人）や当事者家族の話しあえる集いの場	その他
大聖寺圏域 (n=480)	9.8%	7.3%	14.0%	41.9%	5.6%	13.8%	1.5%
山代圏域 (n=434)	10.1%	7.6%	18.9%	40.8%	6.0%	11.3%	2.3%
片山津圏域 (n=382)	12.0%	5.2%	20.4%	42.7%	6.8%	9.7%	3.1%
橋立圏域 (n=347)	11.0%	8.4%	17.0%	41.2%	4.9%	11.0%	2.3%
動橋圏域 (n=409)	9.8%	5.1%	15.6%	40.3%	6.6%	11.7%	2.2%
作見圏域 (n=385)	9.6%	8.1%	16.6%	42.9%	10.4%	12.7%	1.3%
山中圏域 (n=450)	12.4%	5.8%	21.8%	42.9%	8.0%	15.1%	2.4%

④ 医療（療養）について

問 13-1 長期療養や介護が必要な状態になった時の暮らし場所の意向

「自宅や家族の家」と回答した者の割合は動橋圏域で **36.2%**と最も高く、作見・山中圏域で低い結果となっています。対照的に、「病院」と回答した者は作見・山中圏域でやや高く、動橋・大聖寺圏域で低い結果となっています。

	自宅や家族の家	病院	老人ホーム など介護を 受けられる 施設	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	33.1%	17.3%	46.0%	0.6%	2.9%
山代圏域 (n=434)	29.3%	19.1%	47.7%	0.9%	3.0%
片山津圏域 (n=382)	31.7%	20.9%	42.7%	0.8%	3.9%
橋立圏域 (n=347)	30.5%	21.6%	44.1%	0.6%	3.2%
動橋圏域 (n=409)	36.2%	17.1%	43.5%	1.0%	2.2%
作見圏域 (n=385)	27.3%	23.6%	45.2%	1.3%	2.6%
山中圏域 (n=450)	27.6%	22.9%	45.1%	1.6%	2.9%

問 13-2 長期療養・介護で「自宅や家族の家」を望む理由 <複数回答>

「住み慣れた場所で過ごしたいから」と回答した者は動橋圏域が **81.1%**で最も高く、次いで片山津圏域で **78.5%**と続いています。また、「自分の好きなことをしながら過ごしたいから」と回答した者は作見・橋立で比較的高い一方、片山津圏域で低い傾向がみられます。対照的に「家族との時間を多くしたいから」と回答した者は、片山津圏域で最も高く、作見・橋立圏域で低い傾向がみられます。その他、「病院や施設で過ごすことに経済的な不安があるから」と回答した者は橋立圏域が **40.6%**で最も高く、動橋・作見圏域で低い傾向がみられます。「家族や知人が自宅で医療や介護サービスを受けていたから」と回答した者は山中圏域が **12.1%**で最も高い結果となっています。

	住み慣れた 場所で過 ごしたい から	自分の好 きなこ とをし ながら 過ご したい から	家族との 時 間を多 くし たい から	病院や 施設 で過 ごす こと に経 済的 な不 安が ある から	家族や 知人 が自 宅で 医 療 や 介 護 サ ー ビ ス を 受 け て い た か ら	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=159)	76.1%	53.5%	31.4%	34.6%	8.2%	4.4%	1.3%
山代圏域 (n=127)	76.4%	52.8%	33.9%	37.0%	4.7%	1.6%	0.8%
片山津圏域 (n=121)	78.5%	47.9%	36.4%	38.0%	10.7%	2.5%	0.0%
橋立圏域 (n=106)	75.5%	55.7%	29.2%	40.6%	3.8%	1.9%	0.0%
動橋圏域 (n=148)	81.1%	52.7%	31.8%	31.8%	5.4%	1.4%	0.7%
作見圏域 (n=105)	73.3%	59.0%	29.5%	31.4%	5.7%	1.9%	1.9%
山中圏域 (n=124)	74.2%	51.6%	31.5%	33.9%	12.1%	0.8%	0.8%

問 13-3 長期療養・介護で「病院」や「介護施設」を望む理由 <複数回答>

「家族の身体的・精神的負担を減らせるから」と回答した者は、大聖寺圏域が **80.6%** で最も高く、山代・動橋圏域が **79.0%** で続いています。一方、片山津圏域が **69.1%** で最も低い結果となっています。作見圏域では他圏域に比べて高い割合となっている項目が比較的多いことから、病院や介護施設を望む意向が強いことがうかがえます。その他、「介護してくれる家族がいないから」と回答した者は、片山津圏域が **29.2%** で最も高く、また「段差があるなど、自宅の環境が整っていないから」と回答した者が作見・山中圏域で **20%** 以上と他圏域より高い結果となっています。

	家族の身体的・精神的負担を減らせるから	自分自身の身体的・経済的負担を減らせるから	自宅で過ごすことに経済的な不安があるから	病状が急変したときの対応が心配だから	介護してくれる家族がいないから
大聖寺圏域 (n=304)	80.6%	42.8%	10.9%	40.1%	23.0%
山代圏域 (n=290)	79.0%	43.4%	12.4%	41.7%	18.6%
片山津圏域 (n=243)	69.1%	42.4%	13.6%	37.9%	29.2%
橋立圏域 (n=228)	72.8%	41.2%	7.9%	43.4%	18.4%
動橋圏域 (n=248)	79.0%	45.6%	9.3%	42.7%	18.5%
作見圏域 (n=265)	78.1%	47.9%	13.6%	48.7%	24.9%
山中圏域 (n=306)	78.1%	42.8%	11.8%	43.1%	23.5%

	家族が希望しないから	訪問診療や訪問看護を行ってくれる医療機関を知らないから	段差があるなど、自宅の環境が整っていないから	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=304)	4.9%	5.9%	14.5%	1.6%	3.0%
山代圏域 (n=290)	3.4%	5.9%	13.8%	0.3%	5.2%
片山津圏域 (n=243)	4.1%	5.3%	17.3%	1.6%	6.2%
橋立圏域 (n=228)	3.1%	2.6%	14.5%	1.8%	6.6%
動橋圏域 (n=248)	3.2%	5.2%	15.3%	1.6%	3.2%
作見圏域 (n=265)	3.4%	3.8%	20.0%	1.1%	1.9%
山中圏域 (n=306)	3.3%	4.6%	21.2%	1.6%	3.3%

問 14 自身がどのような状態になったときに、自宅療養生活の継続が困難だと感じるか <複数回答>

橋立圏域では他圏域に比べてどの項目においても回答の割合が低く、大聖寺圏域でもややその傾向がみられ、自身が将来要介護状態になるという意識が比較的低い可能性がうかがえます。

	オムツが必要になったとき	歩行が困難になったとき	自力でトイレに行くことができなくなったとき	食事を自分で食べられなくなったとき	自分ひとりで外出できなくなったとき	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	38.3%	66.7%	76.0%	66.7%	30.4%	2.7%	4.0%
山代圏域 (n=434)	35.0%	69.4%	77.4%	65.4%	36.4%	2.8%	3.2%
片山津圏域 (n=382)	39.0%	68.3%	76.4%	65.7%	35.3%	0.8%	5.5%
橋立圏域 (n=347)	34.3%	63.1%	70.9%	64.0%	26.2%	2.3%	5.5%
動橋圏域 (n=409)	33.7%	69.7%	77.5%	65.0%	33.0%	2.4%	2.0%
作見圏域 (n=385)	37.9%	70.9%	77.4%	70.9%	34.5%	3.4%	2.3%
山中圏域 (n=450)	36.4%	73.1%	74.4%	68.4%	37.1%	3.1%	4.0%

問 15 在宅介護の支援ニーズ <複数回答>

<支援ニーズ_自身の自宅療養>

作見圏域では自身の自宅療養における支援ニーズは他圏域に比べて総じて高く、動橋圏域や大聖寺圏域でもややその傾向がみられます。一方、山代・片山津・橋立圏域では比較的低い傾向がみられ、地域によって支援ニーズに差があることがうかがえます。

	定期的に医師や看護師が自宅等へ診療に来てくれる	自宅等でリハビリや薬剤指導などを受けられる	状態が悪くなったときなど、必要ときに医師や看護師が来てくれる	状態が悪くなったときや不安があったときなど、必要ときに電話などで相談できる連絡窓口がある	状態が悪くなったらすぐ入院できる医療機関の保障
大聖寺圏域 (n=480)	47.9%	19.4%	47.7%	29.8%	61.9%
山代圏域 (n=434)	44.0%	20.0%	44.2%	27.9%	58.1%
片山津圏域 (n=382)	43.7%	17.8%	42.1%	28.0%	52.9%
橋立圏域 (n=347)	47.3%	21.3%	45.5%	26.5%	57.3%
動橋圏域 (n=409)	54.0%	24.4%	46.0%	29.8%	59.2%
作見圏域 (n=385)	54.8%	21.8%	50.9%	35.8%	68.3%
山中圏域 (n=450)	45.3%	22.4%	46.4%	30.2%	57.1%

	利用できる医療・介護のサービスや制度についての情報	近くの在宅医療・介護サービスの提供機関の情報	ヘルパーによる食事や排泄、入浴の介護など、介護する家族の負担の軽減	在宅医療・介護にかかる費用に関する情報や経済的負担の軽減	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	22.3%	19.6%	41.3%	36.0%	0.4%	19.8%
山代圏域 (n=434)	18.0%	16.1%	37.3%	32.9%	0.0%	21.7%
片山津圏域 (n=382)	17.0%	16.2%	34.8%	34.0%	0.5%	24.3%
橋立圏域 (n=347)	18.2%	14.4%	37.2%	33.1%	1.2%	22.2%
動橋圏域 (n=409)	20.0%	16.9%	39.6%	35.7%	0.7%	19.3%
作見圏域 (n=385)	22.9%	17.4%	38.2%	41.0%	2.1%	14.5%
山中圏域 (n=450)	17.1%	16.0%	41.3%	33.1%	1.8%	22.4%

<支援ニーズ_家族の在宅介護>

大聖寺・動橋・作見圏域では家族の在宅介護における支援ニーズが他圏域に比べて総じて高い傾向がみられます。一方、片山津圏域をはじめ、山代圏域で比較的低い傾向がみられ、自身の自宅療養における支援ニーズと同様に地域によって支援ニーズに差があることがうかがえます。

	定期的に医師や看護師が自宅等へ診療に来てくれる	自宅等でリハビリや薬剤指導などを受けられる	状態が悪くなったときなど、必要ときに医師や看護師が来てくれる	状態が悪くなったときや不安があったときなど、必要ときに電話などで相談できる連絡窓口がある	状態が悪くなったらすぐに入院できる医療機関の保障
大聖寺圏域 (n=480)	41.9%	18.1%	38.5%	31.3%	51.7%
山代圏域 (n=434)	35.0%	16.1%	33.6%	30.4%	45.9%
片山津圏域 (n=382)	30.9%	13.4%	32.5%	26.2%	38.5%
橋立圏域 (n=347)	34.6%	14.7%	38.0%	29.4%	47.3%
動橋圏域 (n=409)	43.5%	21.0%	41.8%	28.9%	51.8%
作見圏域 (n=385)	41.3%	17.7%	43.9%	30.9%	50.4%
山中圏域 (n=450)	35.6%	16.0%	40.2%	26.4%	45.6%

	利用できる医療・介護のサービスや制度についての情報	近くの在宅医療・介護サービスの提供機関の情報	ヘルパーによる食事や排泄、入浴の介護など、介護する家族の負担の軽減	在宅医療・介護にかかる費用に関する情報や経済的負担の軽減	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	26.3%	19.6%	48.1%	36.9%	0.4%	29.2%
山代圏域 (n=434)	20.5%	17.7%	42.9%	32.0%	0.7%	33.2%
片山津圏域 (n=382)	17.5%	16.5%	35.3%	30.1%	0.8%	40.8%
橋立圏域 (n=347)	20.5%	17.0%	40.6%	33.7%	1.7%	34.9%
動橋圏域 (n=409)	24.0%	19.3%	44.3%	38.1%	0.7%	30.1%
作見圏域 (n=385)	21.8%	23.9%	45.2%	39.7%	1.6%	30.1%
山中圏域 (n=450)	17.8%	17.6%	42.9%	33.8%	2.0%	36.4%

問 16 余命宣告時の人生最期の暮らし場所

「最後まで自宅や家族の家」と回答した者は動橋圏域が **14.2%**で最も高く、作見圏域が **10.1%**で最も低い結果となっています。一方で、「病院・ホスピス」と回答した者は作見圏域が **33.5%**で最も高く、大聖寺・動橋圏域がそれぞれ **21.0%**、**22.2%**で低い傾向がみられます。また、「できるだけ長く自宅で過ごして、最期は病院等へ入る」と回答した者が大聖寺圏域で最も高く、「状態によって、病院等と自宅を使いわける」と回答した者は動橋圏域で最も高い結果となっています。

	最期まで自宅や家族の家	病院・ホスピス	できるだけ長く自宅で過ごして、最期は病院等へ入る	状態によって、病院等と自宅を使いわける	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	11.9%	21.0%	33.1%	29.4%	0.2%	4.4%
山代圏域 (n=434)	12.4%	24.9%	30.9%	27.2%	0.7%	3.9%
片山津圏域 (n=382)	12.6%	25.1%	31.9%	24.3%	0.8%	5.2%
橋立圏域 (n=347)	13.3%	27.4%	27.4%	26.5%	0.6%	4.9%
動橋圏域 (n=409)	14.2%	22.2%	29.1%	30.3%	0.7%	3.4%
作見圏域 (n=385)	10.1%	33.5%	26.5%	27.5%	0.5%	1.8%
山中圏域 (n=450)	11.8%	26.0%	29.8%	28.2%	0.0%	4.2%

⑤ 住まいと暮らしについて

問17 1人になっても自宅で暮らすうえで負担なこと <複数回答>

橋立圏域では、「家族や友人などが近くにいない」と回答した者は9.2%で他圏域に比べて最も低い一方で、買い物場所や駅やバス停の他、特に医療機関が近くにないと回答した者が他圏域に比べて高い特徴がみられます。対照的に、作見圏域では「家族や友人などが近くにいない」と回答した者は19.5%で最も高く、買い物場所や駅やバス停、医療機関などが近くにないと回答した者は他圏域に比べ低くなっており、圏域によって利便性や身近な存在による将来の不安に相違があることがうかがえます。

	家族や友人などが近くにいない	スーパーやコンビニなどの買い物場所が遠い	電車の駅やバス停が近くにない	医療機関が近くにない	暮らしや健康・福祉のことで利用できる施設や事業所が近くにない	階段があがれない
大聖寺圏域 (n=480)	13.5%	37.1%	17.5%	25.2%	11.5%	5.6%
山代圏域 (n=434)	12.2%	30.9%	18.4%	20.3%	11.1%	8.5%
片山津圏域 (n=382)	14.4%	39.3%	22.3%	15.2%	13.1%	6.8%
橋立圏域 (n=347)	9.2%	61.4%	25.1%	45.5%	9.5%	5.8%
動橋圏域 (n=409)	11.2%	39.4%	24.2%	14.9%	11.5%	5.6%
作見圏域 (n=385)	19.5%	34.0%	10.1%	7.0%	10.4%	8.1%
山中圏域 (n=450)	15.1%	38.4%	13.3%	21.3%	8.0%	10.7%

	ゴミ出しなど日常生活の一部ができなくなる	持家や財産、お墓の管理や処分	経済的なこと	特にない	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	30.0%	16.9%	26.3%	10.6%	4.6%	9.2%
山代圏域 (n=434)	27.2%	16.6%	36.9%	10.1%	3.0%	9.2%
片山津圏域 (n=382)	22.0%	13.4%	37.7%	10.7%	3.4%	9.4%
橋立圏域 (n=347)	22.8%	9.5%	22.2%	6.1%	2.9%	8.9%
動橋圏域 (n=409)	28.6%	13.7%	30.8%	11.5%	4.4%	8.3%
作見圏域 (n=385)	34.0%	14.5%	34.0%	8.6%	3.4%	9.1%
山中圏域 (n=450)	27.6%	14.4%	33.6%	9.3%	4.9%	9.1%

問 18-1 普段の移動手段 <複数回答>

移動手段の圏域別特徴についてみると、「自分で自家用車を運転」する者は「動橋圏域」で78.0%と最も高く、作見・大聖寺圏域も7割を上回っています。一方で、山中圏域では61.3%で最も低く、次いで片山津圏域でも低い結果となっています。また、山中圏域では「路線バス」の利用が22.2%で他圏域と比べ顕著に高い結果となっています。大聖圏域では「自転車」と「一般のタクシー」の利用がそれぞれ19.8%、11.7%で最も高い結果となっています。また、橋立圏域ではあらゆる移動手段において他圏域に比べて低い割合となっており、「のりあいタクシー」や「病院や施設のバス」の利用が他圏域と比べて高い特徴がみられます。「徒歩」は橋立圏域で6.3%と最も低く、作見・山中圏域で高い結果となっています。

	自家用車 (自分で運 転)	自家用車 (人に乗せ てもら)	オートバイ	自転車	一般のタク シー	のりあいタ クシー
大聖寺圏域 (n=480)	71.7%	15.4%	0.6%	19.8%	11.7%	3.1%
山代圏域 (n=434)	68.9%	19.4%	1.8%	15.9%	7.1%	3.2%
片山津圏域 (n=382)	64.1%	17.8%	2.1%	14.1%	9.4%	0.5%
橋立圏域 (n=347)	69.7%	18.7%	0.3%	3.7%	4.6%	4.9%
動橋圏域 (n=409)	78.0%	15.4%	1.2%	14.9%	4.2%	1.0%
作見圏域 (n=385)	73.5%	16.6%	1.6%	7.8%	9.1%	0.8%
山中圏域 (n=450)	61.3%	21.6%	1.6%	15.8%	10.4%	2.0%

	路線バス	JR(電車)	病院や施設 のバス	徒歩	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	5.6%	9.0%	1.9%	22.1%	0.4%	4.2%
山代圏域 (n=434)	9.9%	6.2%	0.5%	22.8%	0.2%	3.5%
片山津圏域 (n=382)	8.6%	2.1%	5.2%	19.1%	1.8%	4.7%
橋立圏域 (n=347)	4.6%	2.0%	6.6%	6.3%	2.3%	4.9%
動橋圏域 (n=409)	0.7%	11.7%	2.2%	16.6%	0.5%	3.2%
作見圏域 (n=385)	10.6%	12.5%	1.8%	24.4%	0.5%	4.2%
山中圏域 (n=450)	22.2%	5.6%	1.3%	23.3%	0.4%	3.1%

問 18-2 運転ができなくなった場合の困難なこと <複数回答>

動橋・橋立圏域では買い物や病院へ行けなくなると回答した者が他圏域に比べて高く、山中圏域で低い傾向がみられます。また、「外出の回数が減り、気力が衰える」と回答した者は作見圏域で50.9%と最も高く、橋立・片山津圏域では他圏域に比べるとやや低い結果となっています。

	買い物に行 けなくなる	病院に行け なくなる	自分の時間 が制限され る	仕事に行け なくなる	農作業がで きなくなる
大聖寺圏域 (n=480)	62.9%	51.0%	14.6%	12.7%	6.5%
山代圏域 (n=434)	59.7%	53.7%	17.5%	11.1%	9.4%
片山津圏域 (n=382)	63.6%	54.5%	14.1%	12.0%	8.9%
橋立圏域 (n=347)	67.4%	56.8%	15.3%	13.8%	9.8%
動橋圏域 (n=409)	70.7%	61.4%	17.4%	13.7%	7.6%
作見圏域 (n=385)	64.4%	49.9%	15.6%	16.6%	3.6%
山中圏域 (n=450)	60.4%	49.1%	10.9%	13.1%	4.4%

	親族・知人 に会いに行 けなくなる	外出の回数 が減り、気 力が衰える	困ることは ない	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	16.9%	47.9%	4.2%	2.9%	13.3%
山代圏域 (n=434)	16.4%	44.2%	3.0%	1.6%	15.2%
片山津圏域 (n=382)	16.8%	41.6%	2.6%	3.4%	16.2%
橋立圏域 (n=347)	13.0%	39.5%	1.7%	3.5%	15.0%
動橋圏域 (n=409)	16.6%	47.7%	1.2%	1.5%	9.3%
作見圏域 (n=385)	19.0%	50.9%	1.8%	2.6%	13.5%
山中圏域 (n=450)	14.7%	44.4%	3.6%	2.0%	20.7%

⑥ 介護保険制度や高齢者福祉について

問 19 介護保険制度について知っていること <複数回答>

大聖寺圏域および山中圏域では、他圏域と比べて知っている割合が高い項目が多く、特に大聖寺圏域では「この中で知っていることはない」と回答した者の割合が**9.6%**で最も低くなっており、認知度が比較的高い傾向がうかがえます。一方で、橋立圏域においては「この中で知っていることはない」と回答した者の割合が**16.7%**で最も高い他、「介護サービスを利用するには認定が必要である」、「介護サービスを利用するときには、利用料の負担が必要である」において最も低い割合となっており、介護保険制度に関する認知度が他圏域に比べて低いことが示唆されます。

	介護サービスの費用の半分は国・県・市の公費、約3割が40～64歳の介護保険料、残りの約2割が65歳以上の介護保険料で賄われている	40～64歳の人の介護保険料は、医療保険料と一緒に納付している	介護サービスを利用するには、要介護（要支援）認定が必要である	介護予防や高齢者福祉の事業にも介護保険料が使われている	介護予防サービスの一部は、要介護（要支援）認定がなくても利用できる
大聖寺圏域 (n=480)	27.3%	25.4%	70.4%	18.3%	9.4%
山代圏域 (n=434)	26.7%	21.0%	66.1%	18.7%	7.1%
片山津圏域 (n=382)	23.0%	21.5%	61.8%	17.5%	6.8%
橋立圏域 (n=347)	25.6%	22.5%	57.1%	16.4%	9.2%
動橋圏域 (n=409)	27.6%	26.9%	67.0%	16.6%	7.3%
作見圏域 (n=385)	27.3%	23.1%	65.2%	18.4%	9.1%
山中圏域 (n=450)	26.7%	26.4%	64.0%	20.9%	8.2%

	40～64歳の人は、特定の病気の場合のみ要介護（要支援）認定の申請ができる	介護サービスを利用するときには、利用料の1割（2割）の負担が必要である	介護保険料を滞納すると、介護サービスを利用するときの利用料が3割の負担になる場合がある	この中で知っていることはない	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	17.9%	44.4%	6.0%	9.6%	12.1%
山代圏域 (n=434)	10.8%	39.6%	7.6%	12.7%	11.1%
片山津圏域 (n=382)	14.1%	33.2%	9.2%	13.6%	17.0%
橋立圏域 (n=347)	11.5%	25.9%	4.0%	16.7%	16.7%
動橋圏域 (n=409)	12.7%	36.2%	7.3%	12.7%	12.5%
作見圏域 (n=385)	13.5%	38.7%	8.1%	11.7%	13.0%
山中圏域 (n=450)	16.0%	39.1%	10.2%	13.3%	12.7%

問 20 介護保険料の負担についての方針

「現状のサービス水準を維持するために必要な保険料引き上げであれば、やむをえない」と回答した者の割合は、大聖寺圏域で **36.5%**と最も高く、作見・動橋圏域で **3** 割程度と続いています。一方、片山津圏域で **23.8%**と最も低くなっており、地域によって負担の認識に違いがあることがうかがえます。

	現状のサービス水準を維持するために必要な保険料引き上げであれば、やむをえない	現状のサービスを充実するために、それ以上に保険料が引き上げられても、やむをえない	保険料を現状程度に維持するためにサービスが削減されても、やむをえない	わからない	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	36.5%	6.7%	9.8%	30.6%	16.5%
山代圏域 (n=434)	25.3%	11.1%	17.1%	32.5%	14.1%
片山津圏域 (n=382)	23.8%	7.3%	15.4%	38.5%	14.9%
橋立圏域 (n=347)	25.1%	8.6%	15.3%	35.7%	15.3%
動橋圏域 (n=409)	29.6%	11.5%	13.2%	34.2%	11.5%
作見圏域 (n=385)	30.6%	10.4%	13.0%	34.5%	11.4%
山中圏域 (n=450)	26.0%	8.0%	12.4%	36.2%	17.3%

問 21 高齢者介護の在り方について

作見圏域では地域住民の助け合いや、国や地方自治体主体の取り組みの意向が他圏域に比べて高く、「わからない」と回答した者は他圏域で最も低い **7.0%**となっています。一方、橋立圏域では「わからない」と回答した者が **13.5%**となっています。その他、山代圏域では本人や家族主体の取り組みの意向が **13.4%**で最も高くなっています。また、大聖寺圏域ではすべての取り組みが必要と回答した者が **47.1%**で最も高い結果となっています。

	本人や家族が主体となって取り組む	本人や家族だけでなく、地域の住民が互いに助け合い支えあって取り組む	国や地方自治体が主体となって取り組む	国や地方自治体だけでなく、地域の住民が互いに助け合い支えあって取り組む	本人や家族、国や地方自治体、地域住民の支え合い、全ての取り組みが必要である	どちらともいえない	わからない	その他	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	12.3%	4.6%	9.0%	3.8%	47.1%	3.8%	9.0%	0.4%	10.2%
山代圏域 (n=434)	13.4%	5.5%	10.6%	3.9%	44.5%	3.7%	9.7%	0.5%	8.3%
片山津圏域 (n=382)	9.9%	6.5%	9.7%	3.7%	42.7%	5.5%	11.0%	1.3%	9.7%
橋立圏域 (n=347)	10.7%	4.6%	6.3%	4.6%	43.2%	5.8%	13.5%	0.6%	10.7%
動橋圏域 (n=409)	12.0%	5.9%	10.5%	3.9%	46.2%	3.4%	9.3%	0.5%	8.3%
作見圏域 (n=385)	11.7%	6.2%	12.5%	3.4%	45.5%	4.2%	7.0%	0.3%	9.4%
山中圏域 (n=450)	11.1%	5.1%	10.4%	4.4%	44.9%	3.8%	10.4%	0.2%	9.6%

問 22 家族などの介護経験

「現在、同居の家族などを介護している」と回答した者は大聖寺・山代圏域が **25%**程度で他圏域に比べて高く、橋立圏域が **6.6%**で最も低い結果となっています。今まで介護の経験はないと回答した者は、作見・動橋圏域で **4割**を超えて高く、大聖寺・山代圏域で **3割**程度となっています。

	現在、同居の家族などを介護している	現在、別居の家族などを介護している	以前、家族などを介護したことがある	今まで介護の経験はない	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	24.6%	3.3%	37.5%	27.5%	7.1%
山代圏域 (n=434)	25.6%	3.9%	34.6%	30.6%	5.3%
片山津圏域 (n=382)	14.9%	2.1%	36.6%	38.0%	8.4%
橋立圏域 (n=347)	6.6%	2.0%	44.4%	38.6%	8.4%
動橋圏域 (n=409)	12.7%	2.9%	36.4%	42.5%	5.4%
作見圏域 (n=385)	10.1%	4.2%	34.5%	44.4%	6.8%
山中圏域 (n=450)	15.1%	2.7%	42.0%	33.3%	6.9%

問 23 介護をする上で不安や負担に思うこと

回答順位で重みづけし、各圏域の回答者母数を調整した指標化に基づき (p.1 電算処理について参照) 圏域別に比較すると、「経済的負担」を感じている者は作見・山中圏域で比較的高く、「認知症の場合の対応等がわからない」では動橋・山中圏域で高い傾向がみられます。その他、「介護の方法がわからない」と感じている者は動橋・橋立圏域で高く、「介護についての相談先がわからない」では橋立・動橋・作見圏域でやや高い傾向がみられます。

	睡眠がとれないなど肉体的な負担	ストレスなど精神的な負担	自由に行動できない	経済的負担	認知症の場合の対応等がわからない	本人が介護サービスを受け入れない	周囲の人の理解を得るのが難しい
大聖寺圏域 (n=480)	101.0	135.8	75.2	63.8	31.3	15.4	6.0
山代圏域 (n=434)	93.8	139.9	78.6	80.9	30.4	12.0	6.0
片山津圏域 (n=382)	83.0	116.8	54.2	80.6	35.1	13.6	5.0
橋立圏域 (n=347)	106.3	129.1	60.8	69.7	29.1	14.1	6.6
動橋圏域 (n=409)	92.2	134.5	75.3	71.6	39.4	14.4	4.9
作見圏域 (n=385)	110.6	116.1	68.3	85.2	35.1	13.8	3.4
山中圏域 (n=450)	97.6	130.2	74.9	89.1	41.1	14.7	4.0

	在宅サービスを利用する際の個人情報管理	サービス料が足りるかどうか	介護の方法がわからない	介護についての相談先がわからない	わからない	その他
大聖寺圏域 (n=480)	6.9	11.0	24.2	6.0	6.9	1.7
山代圏域 (n=434)	9.4	7.4	22.1	7.6	6.9	1.4
片山津圏域 (n=382)	7.6	6.8	23.3	8.6	6.8	3.4
橋立圏域 (n=347)	4.3	9.5	29.4	11.0	6.9	0.3
動橋圏域 (n=409)	5.9	9.8	32.0	11.5	3.2	2.4
作見圏域 (n=385)	9.1	6.5	26.8	11.2	6.2	0.8
山中圏域 (n=450)	8.2	8.7	21.8	6.4	4.9	1.1

問 24 介護保険料を活用して家族の介護をしている家族の負担を減らすための事業ニーズ <複数回答>

家族の介護負担を減らすための事業のうち、ニーズが最も高い圏域に着目すると、「介護サービスの限度額を超えた場合の助成」は動橋圏域が**68.2%**で最も高くなっています。また、「必要なものの支給」は橋立・動橋圏域で**6割**を超え他圏域に比べて高く、「移送サービス」は橋立・作見圏域を除き半数を上回っています。その他、「慰労金などの支給」は山代圏域が**31.1%**で最も高く、「2階から1階へ住み替えるための助成」は山中圏域が**12.4%**で最も高い結果となっています。

	必要なものの支給	慰労金などの支給	移送サービス	介護サービスの限度額を超えた場合の助成	2階等から1階へ住み替えるための助成	その他	介護保険料を活用した事業はしなくてもよい	無回答
大聖寺圏域 (n=480)	56.7%	22.9%	52.3%	63.5%	4.6%	2.1%	2.3%	11.0%
山代圏域 (n=434)	57.6%	31.1%	50.0%	65.2%	8.3%	1.8%	3.2%	8.8%
片山津圏域 (n=382)	54.5%	26.7%	50.8%	59.9%	5.8%	3.9%	1.6%	10.2%
橋立圏域 (n=347)	62.5%	25.4%	46.7%	65.1%	6.3%	2.6%	1.7%	11.2%
動橋圏域 (n=409)	62.6%	22.5%	51.1%	68.2%	4.6%	2.7%	2.7%	6.8%
作見圏域 (n=385)	53.5%	26.5%	48.3%	66.0%	6.5%	2.1%	2.9%	12.7%
山中圏域 (n=450)	56.7%	26.0%	51.8%	61.1%	12.4%	1.6%	2.7%	11.6%

超高齢社会に関する市民意識調査

【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
2月6日(月)までに投函してください。

加賀市役所 健康福祉部 長寿課

問1 あなたご自身（このアンケートの対象者）について、該当する所に○をつけてください。（平成29年1月現在）

記入者	1. ご本人	2. 代理（本人との続柄：)		
性別	1. 男	2. 女		
年齢	1. 60～64歳	2. 65～69歳	3. 70～74歳	4. 75～79歳
	5. 80～84歳	6. 85～89歳	7. 90～94歳	8. 95歳以上
お住まいの地区	1. 大聖寺	8. 勅使	15. 動橋	
	2. 三木	9. 東谷口	16. 分校	
	3. 三谷	10. 別所	17. 作見	
	4. 南郷	11. 片山津	18. 山中	
	5. 塩屋	12. 金明	19. 河南	
	6. 山代	13. 湖北	20. 西谷	
	7. 庄	14. 橋立	21. 東谷	
お住まいの状況	1. 一戸建て（持ち家）	5. 市営住宅・県営住宅		
	2. 一戸建て（借家）	6. 社宅・官舎（寮）		
	3. 分譲マンション	7. 老人ホーム・ケアハウス		
	4. 賃貸アパート・マンション	8. その他（)		
世帯構成	1. 一人暮らし	4. 親と同居		
	2. 夫婦世帯	5. 三世代以上の同居		
	3. 子供世帯（未婚の子供含む）と同居	6. その他（)		
ふだんの日、主にどのようなことをして過ごすことが多いですか。（○は3つまで）				
1. テレビ・ラジオ、新聞・雑誌など	9. 地域や社会のための活動			
2. インターネット・メール	10. 学習活動			
3. 家族とのだんらん、孫の世話	11. 家事			
4. 趣味・娯楽	12. 仕事			
5. 仲間と集まりおしゃべりをする	13. 田や畑などの農作業			
6. 軽い運動やスポーツ	14. 何もせずのんびりする			
7. 飲食・ショッピング	15. その他（)			
8. ドライブ、日帰りの行楽（ハイキングなど）				

地域活動や健康維持についておたずねします

問2 ご職業についておたずねします。あなたの現在のご職業は何ですか。

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 自営業 | 4. 農業・漁業 |
| 2. 会社員・公務員 | 5. 特にない |
| 3. パート・アルバイト | |

問2で1～4と答えた方にお聞きします。

問2-2 何歳ごろまで仕事をしたいですか。

- | | |
|--------|----------------|
| 1. 65歳 | 4. 80歳 |
| 2. 70歳 | 5. 働けるうちはいつまでも |
| 3. 75歳 | |

問3 地域活動についておたずねします。地域活動するとしたら、どのような活動に参加したいですか。(○は複数可)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 家事支援等の高齢者支援 | 6. 郷土芸能の伝承等の教育文化活動 |
| 2. 保育への手伝い等の子育て支援 | 7. 介護施設等のボランティア |
| 3. 祭りなどの町内会行事の世話等 | 8. その他 () |
| 4. 地区のまちづくり活動 | 9. 参加したい活動はない |
| 5. 体操やゲートボール等の世話等 | |

問3でいずれかの活動を行いたい、または参加したいと答えた方にお聞きします。

問3-2 その活動に参加したい理由は何ですか。(○は複数可)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 生活に充実感を持ちたいから | 6. お互いに助け合うことが大切だから |
| 2. 自分の技術・経験を活かしたい | 7. 地域社会に貢献したい |
| 3. 新しい友人を得たい | 8. 分からない |
| 4. 社会への見方を広めたい | 9. その他 () |
| 5. 健康や体力に自信をつけたい | |

問3-3 地域活動の報酬に対して、どのようにお考えですか。

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 謝礼や報酬は必要ない | 4. 分からない |
| 2. 交通費などの実費くらいは必要 | 5. その他 () |
| 3. 交通費などの実費に加え、日当程度は必要 | |

問4 あなたは、ふだん、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 困ったときに助け合ったりする | 4. 立ち話をする程度 |
| 2. 親しく付き合っている | 5. 付き合いはほとんどない |
| 3. あいさつをする程度 | |

問5 日常生活等でちょっとした困りごとがあるとき、誰に相談しますか。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 家族・親戚 | 6. 市役所 |
| 2. 友人・知人 | 7. 分からない |
| 3. 近所の人 | 8. 相談できる人がいない |
| 4. 民生委員 | 9. その他 () |
| 5. 区長・町内の役員 | |

問 6 近所や町内会における行動について、あなたのお考えに近いものをお選び下さい。				
ア	身体の具合が悪そうな人を見かけたら声をかける	1. する	2. しない	「2. しない」と答えた方へ、その理由とどうしたら取り組めるか、お書きください。 []
イ	近所の高齢者の顔を二、三日見ないときは状況を確認したり、町の役員に知らせたりする	1. する	2. しない	「2. しない」と答えた方へ、その理由とどうしたら取り組めるか、お書きください。 []
ウ	近所の高齢者の買い物やごみ出しなどを手助けする	1. する	2. しない	「2. しない」と答えた方へ、その理由とどうしたら取り組めるか、お書きください。 []
エ	高齢者に地域だよりなどの案内をするときは、ひと声かけて渡す	1. する	2. しない	「2. しない」と答えた方へ、その理由とどうしたら取り組めるか、お書きください。 []
オ	近所で見知らぬ高齢者を見かけたら声をかける	1. する	2. しない	「2. しない」と答えた方へ、その理由とどうしたら取り組めるか、お書きください。 []
カ	近所の高齢者の困り事などの話し合いの場に誘われたら参加する	1. する	2. しない	「2. しない」と答えた方へ、その理由とどうしたら取り組めるか、お書きください。 []
キ	町内会・自治会の行事に参加する	1. する	2. しない	「2. しない」と答えた方へ、その理由とどうしたら取り組めるか、お書きください。 []
ク	地域のイベントに参加するときは、隣近所の人を誘う	1. する	2. しない	「2. しない」と答えた方へ、その理由とどうしたら取り組めるか、お書きください。 []
ケ	自分ができるボランティア活動があれば参加する	1. する	2. しない	「2. しない」と答えた方へ、その理由とどうしたら取り組めるか、お書きください。 []
コ	老人会の活動に参加する	1. する	2. しない	「2. しない」と答えた方へ、その理由とどうしたら取り組めるか、お書きください。 []

問8で「11 特にない」と答えた方におたずねします。

問8-3 なぜ取り組んでいないのですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 体力に自信があるから | 4. 取り組み方が分からないから |
| 2. まだ若いから | 5. 面倒だから |
| 3. きっかけがないから | 6. その他 () |

問9 健康を維持していくためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 生活習慣病予防などの健康に関する講座
2. 知識や経験、趣味を活かした就労などの支援
3. 知識や経験、趣味を活かしたボランティア活動の充実
4. 認知症予防・筋トレ等の介護予防講座の実施
5. スポーツ・趣味サークル等の立ち上げ支援
6. 地域サロン等、高齢者が気軽に集まれる場の充実
7. 料理教室や家事教室などの生活支援に関する充実
8. 畑・家庭菜園などの作業の指導
9. 祭りや学校行事等への協力・手伝い
10. 1~9の活動を紹介してくれる窓口の設置
11. その他 ()

認知症についておたずねします

問10 あなたが、認知症について知っていることに○をつけてください。(○は複数可)

1. 認知症は病気である
2. 高齢者でなくても発症する可能性がある
3. 早期発見・治療で進行を遅らせることができる
4. 何もかも分からなくなってしまう訳ではなく、感情やプライドは保たれている
5. 関わり方次第で症状が落ち着く可能性がある
6. 身内だけでなく自分のことも忘れてしまう
7. 外出して戻れなくなる
8. 頑固になったり以前と違った性格になる
9. 目が離せず、周囲や家族の負担が大きい
10. 残された能力を活かし、その人らしく生活することは可能である
11. 様々な症状があるので一様には言えない
12. 何も知らない
13. その他 ()

医療(療養)についておたずねします

問 13 自分自身が病気などにより数年間の長期療養や介護が必要な状態になったとき、どこで暮らしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅や家族の家
2. 病院
3. 老人ホームなど介護を受けられる施設
4. その他(具体的に))

問 13 で「1 自宅や家族の家」と答えた方におたずねします。

問 13-2 なぜ、そう思いますか。(○は複数可)

1. 住み慣れた場所で過ごしたいから
2. 自分の好きなことをしながら過ごしたいから
3. 家族との時間を多くしたいから
4. 病院や施設で過ごすことに経済的な不安があるから
5. 家族や知人が自宅で医療や介護サービスを受けていたから
6. その他(具体的に))

問 13 で「2 病院」「3 老人ホームなど介護を受けられる施設」と答えた方におたずねします。

問 13-3 なぜ、そう思いますか。(○は複数可)

1. 家族の身体的・精神的負担を減らせるから
2. 自分自身の身体的・精神的負担を減らせるから
3. 自宅で過ごすことに経済的な不安があるから
4. 病状が急変したときの対応が心配だから
5. 介護してくれる家族がいないから
6. 家族が希望しないから
7. 訪問診療や訪問看護を行ってくれる医療機関を知らないから
8. 段差があるなど、自宅の環境が整っていないから
9. その他(具体的に))

問 14 自分自身がどのような状態になったときに、自宅での療養生活を続けることが無理だと考えますか。(○は複数可)

1. オムツが必要になったとき
2. 歩行が困難になったとき
3. 自力でトイレに行くことができなくなったとき
4. 食事を自分ひとりで食べられなくなったとき
5. 自分ひとりで外出できなくなったとき
6. その他(具体的に))

問 15 ご自身が自宅等で療養することになった場合には、どのような支援があると良いと思いますか。同様に、自宅等で療養するご家族を介護することになった場合には、どのような支援があると良いと思いますか。それぞれの場合について、お答えください。

1. 定期的に医師や看護師が自宅等へ診療に来てくれる
2. 自宅等でリハビリや薬剤指導などを受けられる
3. 状態が悪くなったときなど、必要なときに医師や看護師が来てくれる
4. 状態が悪くなったときや不安があったときなど、必要なときに電話などで相談できる連絡窓口がある
5. 状態が悪くなったらすぐに入院できる医療機関の保障
6. 利用できる医療・介護のサービスや制度についての情報
7. 近くの在宅医療・介護サービスの提供機関の情報
8. ヘルパーによる食事や排泄、入浴の介護など、介護する家族の負担の軽減
9. 在宅医療・介護にかかる費用に関する情報や経済的負担の軽減
10. その他（具体的に _____）

※下欄の番号に○をつけてください（○は複数可）

ご自身が療養する場合	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10（具体的に _____）
ご家族を介護する場合	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10（具体的に _____）

問 16 自分自身が、がん等で長く生きられない（例えば、余命 6 ヶ月）と宣告された場合に、どこで暮らしたいと思いますか。人生の最期をどこで過ごしたいと思いますか。（○は 1 つ）

1. 最後まで自宅や家族の家
2. 病院・ホスピス（※）
3. できるだけ長く自宅で過ごして、最後は病院等へ入る
4. 状態によって、病院等と自宅を使いわける
5. その他（具体的に _____）

※ホスピスとは、主に末期がん患者に対して緩和治療や終末期医療（ターミナルケア）を行う施設です。延命のための治療よりも、少しでも快適に過ごせるように、身体の痛みやだるさ、つらさをやわらげることを優先した援助を行います。

住まいと暮らしについておたずねします

問 17 あなたが1人になっても自宅で暮らしていくために、不安に思うことは何ですか。(○は3つまで)

1. 家族や友人などが近くにいない
2. スーパーやコンビニなどの買い物場所が遠い
3. 電車の駅やバス停が近くにない
4. 医療機関が近くにない
5. 暮らしや健康・福祉のことで利用できる施設や事業所が近くにない
6. 階段があがれない
7. ゴミ出しなど日常生活の一部ができなくなる
8. 持ち家や財産、お墓の管理や処分
9. 経済的なこと
10. 特にない
11. その他()

問 18 あなたのふだんの移動手段は何ですか。(○は複数可)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 自家用車（自分で運転） | 7. 路線バス |
| 2. 自家用車（人に乗せてもらう） | 8. JR（電車） |
| 3. オートバイ | 9. 病院や施設のバス |
| 4. 自転車 | 10. 徒歩 |
| 5. 一般のタクシー | 11. その他() |
| 6. のりあいタクシー（のりあい号） | |

問 18-2 運転ができなくなった場合、どのようなことに困ると思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 買い物に行けなくなる | 6. 親族・知人に会いに行けなくなる |
| 2. 病院に行けなくなる | 7. 外出の回数が減り、気力が衰える |
| 3. 自分の時間が制限される | 8. 困ることはない |
| 4. 仕事に行けなくなる | 9. その他() |
| 5. 農作業ができなくなる | |

介護保険制度や高齢者福祉、その他ご意見についておたずねします

問 19 あなたが、介護保険制度について知っていることに○をつけてください。
(○は複数可)

1. 介護サービスの費用の半分は国・県・市の公費、約3割が40～64歳の介護保険料、残りの約2割が65歳以上の介護保険料で賄われている
2. 40～64歳の人の介護保険料は、医療保険料と一緒に納付している
3. 介護サービスを利用するには、要介護（要支援）認定が必要である
4. 介護予防や高齢者福祉の事業にも介護保険料が使われている
5. 介護予防サービスの一部は、要介護（要支援）認定がなくても利用できる
6. 40～64歳の人は、特定の病気の場合のみ要介護（要支援）認定の申請ができる
7. 介護サービスを利用するときには、利用料の1割（2割）の負担が必要である
8. 介護保険料を滞納すると、介護サービスを利用するときの利用料が3割の負担になる場合がある
9. この中で知っていることはない

問 20 あなたは、介護保険料の負担について、次の方針からあえて一つ選ぶとしたらどれを選びますか。(○は1つ)

1. 現状のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむをえない
2. 現状のサービスを充実するために、上記1以上に保険料が引き上げられても、やむをえない
3. 保険料を現状程度に維持するためにサービスが削減されても、やむをえない
4. 分からない

問 21 あなたは、高齢者介護のあり方について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 本人や家族が主体となって取り組む
2. 本人や家族だけでなく、地域の住民が互いに助け合い支えあって取り組む
3. 国や地方自治体が主体となって取り組む
4. 国や地方自治体だけでなく、地域の住民が互いに助け合い支えあって取り組む
5. 本人や家族、国や地方自治体、地域住民の支え合い、すべての取り組みが必要である
6. どちらともいえない
7. 分からない
8. その他()

問 22 あなたは、家族などの介護をした経験がありますか。(○は1つ)

1. 現在、同居の家族などを介護している
2. 現在、別居の家族などを介護している
3. 以前、家族などを介護したことがある
4. 今まで介護の経験はない

問 23

あなたが介護をする上で、不安や負担に思われることは何ですか。
不安や負担と思われる順に番号を記載してください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 睡眠がとれないなど肉体的な負担 | 8. 在宅サービスを利用する際の個人情報管理 |
| 2. ストレスなど精神的な負担 | 9. サービス量が足りるかどうか |
| 3. 自由に行動ができない | 10. 介護の方法が分からない |
| 4. 経済的負担 | 11. 介護についての相談先が分からない |
| 5. 認知症の場合の対応等が分からない | 12. 分からない |
| 6. 本人が介護サービスを受け入れない | 13. その他 () |
| 7. 周囲の人の理解を得るのが難しい | |

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

問 24

介護保険料を活用して、自宅で家族の介護をしている家族の負担を減らすための事業を開始する場合、どんなものがあればよいと思いますか。(○は3つまで)

1. 必要な物（オムツなど）の支給
2. 慰労金などの支給
3. 移送サービス
4. 介護サービスの限度額を超えた場合の助成
5. 2階等から1階へ住み替えるための助成
6. その他 ()
7. 介護保険料を活用した事業はしなくてもよい

問25

これからも住みなれた地域で生活続けるために、どのような高齢者支援政策が必要だと思えますか。ご意見や具体的なアイデアをお聞かせください。

[]

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

(担当：長寿課)

